

# 一般演題（口演）プログラム

※本号（ ）内のページ数を掲載しております。

一般演題（口演）		プログラム／抄録			
12月3日（日）	01	（社・S）行動科学	8:45~9:33	P.53	P.223
	02	（臨・C）看護	8:45~9:33	P.53	P.226
	03	（臨・C）症例報告（悪性腫瘍）	8:45~9:33	P.54	P.229
	04	（社・S）キーポピュレーション	9:40~10:28	P.55	P.232
	05	（臨・C）症例報告（COVID-19ほか）	9:40~10:28	P.56	P.235
	06	（臨・C）肝炎	9:40~10:28	P.56	P.238
	07	（臨・C）PrEP・セクシャルヘルス	10:40~11:28	P.57	P.241
	08	（臨・C）抗HIV療法1	13:45~14:33	P.58	P.244
	09	（基・B）COVID-19（基礎）	13:45~14:33	P.58	P.247
	010	（臨・C）抗HIV療法2	13:45~14:25	P.59	P.250
	011	（臨・C）抗HIV療法3	14:40~15:28	P.60	P.252
	012	（基・B）潜伏感染・リザーバー	14:40~15:12	P.61	P.255
	013	（臨・C）抗HIV療法4	14:40~15:28	P.61	P.257
	014	（社・S）疫学	15:40~16:12	P.62	P.260
	015	（臨・C）薬剤耐性・その他	15:40~16:28	P.63	P.262
	016	（臨・C）薬害・高齢化	15:40~16:28	P.64	P.265
	017	（臨・C）母子感染	16:40~17:36	P.64	P.268
	018	（臨・C）HAND・心理	16:40~17:28	P.65	P.272
	019	（臨・C）アンコール1	16:40~17:28	P.66	P.275
12月4日（月）	020	（社・S）陽性者支援	8:30~9:18	P.68	P.278
	021	（臨・C）症例報告（中枢神経系・悪性腫瘍）	8:30~9:18	P.69	P.281
	022	（社・S）政策・医療体制	9:30~10:10	P.69	P.284
	023	（臨・C）アンコール2	9:30~10:10	P.70	P.286
	024	（社・S）教育	13:15~13:47	P.72	P.289
	025	（基・B）薬剤耐性（基礎）/分子疫学	13:15~14:03	P.72	P.291
	026	（臨・C）抗HIV療法5	13:15~14:03	P.73	P.294
	027	（社・S）カウンセリング1	14:10~14:42	P.74	P.297
	028	（基・B）新薬開発/宿主因子/その他	14:10~14:42	P.74	P.299
	029	（臨・C）抗HIV療法6	14:10~14:58	P.75	P.301
	030	（社・S）カウンセリング2	15:10~15:42	P.75	P.304
	031	（臨・C）歯科・外国人・その他	15:10~15:58	P.76	P.306
	032	（臨・C）抗HIV療法7	15:10~15:58	P.77	P.309
	033	（社・S）検査・相談体制	16:10~16:58	P.77	P.312
	034	（臨・C）薬害・患者支援	16:10~16:58	P.78	P.315
	035	（臨・C）抗HIV療法8	16:10~16:58	P.79	P.318
12月5日（火）	036	（社・S）薬害1	9:00~9:32	P.79	P.321
	037	（基・B）病原性・病態/免疫・ワクチン/動物モデル	9:00~9:48	P.80	P.323
	038	（臨・C）抗HIV療法9	9:00~9:48	P.81	P.326
	039	（社・S）薬害2	10:00~10:40	P.82	P.329
	040	（基・B）複製・感染機構/その他	10:00~10:48	P.82	P.331
	041	（臨・C）症例報告（日和見感染症）	10:00~10:48	P.83	P.334
	042	（社・S）ソーシャルワーク	11:00~11:48	P.84	P.337
	043	（臨・C）性感染症	11:00~11:48	P.85	P.340
	044	（臨・C）抗HIV療法10	11:00~11:48	P.85	P.343



# 一般演題（口演）

■日時：12月3日（日） 8：45～9：33

■会場：第5会場（2F ル・ポワ）

## 01（社・S）行動科学

座長 戸ヶ里泰典

（放送大学）

金子典代

（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

O1-1 日本国内在住のLGBTQ+の人々におけるSOC(sense of coherence)とネガティブ経験との関連

井上洋士<sup>1,2)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>2)</sup>

- 1) 株式会社アクセライト
- 2) 放送大学教養学部

O1-2 HIV陽性者に対するうつ傾向に対するソーシャルサポートネットワークの関連性

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、高久陽介<sup>3)</sup>、大島 岳<sup>4)</sup>、阿部桜子<sup>5)</sup>、細川陸也<sup>6)</sup>、塩野徳史<sup>7)</sup>、米倉佑貴<sup>8)</sup>、片倉直子<sup>9)</sup>、山内麻江<sup>10)</sup>、河合 薫<sup>11)</sup>、井上智史<sup>12)</sup>、関由起子<sup>13)</sup>、若林チヒロ<sup>14)</sup>、大木幸子<sup>15)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) (株) アクセライト
- 3) NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンプ bras
- 4) 明治大学
- 5) (株) TIS
- 6) 京都大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 聖路加国際大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 順天堂大学
- 11) (株) MHLレボリューション
- 12) 九州大学
- 13) 埼玉大学
- 14) 埼玉県立大学
- 15) 杏林大学

O1-3 逆境的小児期体験と性行動と物質使用の関連性—第2回LASH調査の結果から—

三輪岳史<sup>1,2)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>、山口正純<sup>3)</sup>、大槻知子<sup>1)</sup>、若林チヒロ<sup>2)</sup>、野坂祐子<sup>4)</sup>、樽井正義<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 埼玉県立大学保健医療福祉学部健康開発学科
- 3) 博慈会長寿リハビリセンター病院
- 4) 大阪大学大学院人間科学研究科

O1-4 薬物を使用するMSMにおける薬物依存重症度スコア(DAST-20)と、性行動、HIVステータス、PrEP使用経験との関連について—MSMを対象とした全国Web調査（第2回LASH調査）から

山口正純<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>2)</sup>、大槻知子<sup>2)</sup>、若林チヒロ<sup>4)</sup>、野坂祐子<sup>3)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、樽井正義<sup>2)</sup>

- 1) 一般財団法人博慈会長寿リハビリセンター病院内科
- 2) ぶれいす東京
- 3) 大阪大学
- 4) 埼玉県立大学

O1-5 本邦におけるMSMを対象としたMpx流行時における知識・関心・行動の検討：全国MSM対象のオンライン横断調査

岩橋恒太<sup>1)</sup>、金子典代<sup>2)</sup>、本間隆之<sup>3)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人akta
- 2) 名古屋市立大学看護学部
- 3) 山梨県立大学看護学部

O1-6 HIV感染者に係る看護職・介護職の意識はどう変わるのか～受け入れを躊躇する職員へのサポートメッセージ～

柴田幸治<sup>1)</sup>、古谷佳苗<sup>2)</sup>、葛田衣重<sup>3)</sup>、今野江利子<sup>2)</sup>、矢幅美鈴<sup>3)</sup>、谷口俊文<sup>3)</sup>、猪狩英俊<sup>3)</sup>

- 1) 千葉感染制御研究所
- 2) 千葉大学医学部附属病院看護部
- 3) 千葉大学医学部附属病院感染制御部

■日時：12月3日（日） 8：45～9：33

■会場：第6会場（2F サロンドシャルム）

## 02（臨・C）看護

座長 東 政美

（独立行政法人国立病院機構大阪医療センター看護部）

宮城京子

（琉球大学病院看護部外来）

O2-1 施設入所したHIV感染症患者の特徴と支援内容の検討に関する研究～介護保険利用対象症例のケアを振り返って～

森下恵理子<sup>1,2)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、栗田あさみ<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、野崎宏枝<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院
- 2) 公益社団法人エイズ予防財団

**O2-2** HIV 関連ニューモシスチス肺炎患者への入院看護に関する後ろ向き観察研究～PCP 看護パス作成に向けて PCP 入院症例の動向を振り返って～

影森彩夏<sup>1)</sup>、河原崎彩佳<sup>1)</sup>、鳴海佑乃<sup>1)</sup>、内藤紫乃<sup>1)</sup>、陳 麻理<sup>1)</sup>、大木悦子<sup>1)</sup>、堀川真由弥<sup>1)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、小林瑞季<sup>3)</sup>、青木孝弘<sup>2)</sup>、渡辺恒二<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院看護部  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

**O2-3** HIV 関連ニューモシスチス肺炎患者への入院看護に関する後ろ向き観察研究 (第 2 報)～通院・治療中断者の背景を振り返って～

鳴海佑乃<sup>1)</sup>、影森彩夏<sup>1)</sup>、河原崎彩佳<sup>1)</sup>、内藤紫乃<sup>1)</sup>、陳 麻理<sup>1)</sup>、大木悦子<sup>1)</sup>、堀川真由弥<sup>1)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、小林瑞季<sup>3)</sup>、青木孝弘<sup>2)</sup>、渡辺恒二<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>

1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター看護部  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

**O2-4** 急性期一般病棟でエイズ発症患者を担当した経験を振り返る—HIV 患者教育経験者として—

宮林優子<sup>1)</sup>、松本雅美<sup>1)</sup>、宮田順之<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>1)</sup>、立川夏夫<sup>2)</sup>

1) 横浜市立市民病院  
2) 名寄市立総合病院

**O2-5** 沖縄県エイズ治療中核拠点病院としての当院の役割

宮城京子、前田サオリ、石郷岡美穂、大田久美子、上原 仁、諸見牧子、上 薫、玉城美波、饒平名聖、新里尚美、金城隆展、眞榮城智子、仲村秀太

琉球大学病院

**O2-6** HIV 診療体制の地域連携強化に向けた病院の課題と可能性：感染対策向上加算算定病院に対する全国アンケート調査

谷口俊文、矢幅美鈴、葛田衣重、猪狩英俊

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

■日時：12月3日(日) 8:45～9:33

■会場：第7会場(1F ラシゴニュー)

## O3 (臨・C) 症例報告 (悪性腫瘍)

座長 遠藤知之

(北海道大学病院血液内科)

小川吉彦

(堺市立総合医療センター感染症内科)

**O3-1** 非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者に合併する腫瘍に関する研究

古賀道子<sup>1)</sup>、福田あかり<sup>1)</sup>、石坂 彩<sup>1)</sup>、田中貴大<sup>1)</sup>、保坂 隆<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>2)</sup>、江口 晋<sup>3)</sup>、遠藤知之<sup>4)</sup>、柿沼章子<sup>5)</sup>、木内 英<sup>6)</sup>、後藤智巳<sup>5)</sup>、高橋俊二<sup>7)</sup>、武田飛呂城<sup>5)</sup>、照屋勝治<sup>8)</sup>、花井十五<sup>9)</sup>、藤井輝久<sup>10)</sup>、藤谷順子<sup>11)</sup>、三田英治<sup>12)</sup>、南 留美<sup>13)</sup>、茂呂 寛<sup>14)</sup>、横幕能行<sup>15)</sup>

1) 東京大学医科学研究所  
2) 仙台医療センターHIV/AIDS包括医療センター  
3) 長崎大学移植・消化器外科  
4) 北海道大学病院血液内科・HIV診療支援センター  
5) はばたき福祉事業団  
6) 東京医科大学臨床検査医学分野  
7) がん研究会・総合腫瘍科  
8) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
9) ネットワーク医療と人権  
10) 広島大学病院エイズ医療対策室  
11) 国立国際医療研究センターリハビリテーション科  
12) 大阪医療センター消化器内科  
13) 九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター  
14) 新潟大学歯学総合病院感染管理部  
15) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター

**O3-2** 抗 HIV 療法と化学療法に抵抗性で局所放射線療法が QOL を劇的に改善させた皮膚限局性 HIV 関連カポジ肉腫の 1 例

吉富祐太郎<sup>1)</sup>、川島 亮<sup>1)</sup>、中山秀次<sup>2)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
2) 国立国際医療研究センター病院放射線治療科

**O3-3** ブリナツモマブが奏効した HIV 感染症合併難治性急性リンパ性白血病

小谷岳春<sup>1)</sup>、田辺 命<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>

1) 石川県立中央病院血液内科  
2) 石川県立中央病院免疫感染症科

**O3-4 当院における HIV-Burkitt lymphoma/ High-grade B-cell lymphoma 6 症例の診療経験**

森 一斗<sup>1)</sup>、齋藤 聡<sup>2)</sup>、岩本真一<sup>1)</sup>、  
関 将行<sup>3)</sup>、阿部佳子<sup>4)</sup>、飯原久仁子<sup>4)</sup>、  
米野由希子<sup>1)</sup>、柴崎正幸<sup>5)</sup>、山名哲郎<sup>6)</sup>、  
柳 富子<sup>1)</sup>

- 1) JCHO東京山手メディカルセンター血液内科
- 2) JCHO東京山手メディカルセンター消化器内科
- 3) JCHO東京山手メディカルセンター薬剤科
- 4) JCHO東京山手メディカルセンター病理診断科
- 5) JCHO東京山手メディカルセンター外科
- 6) JCHO東京山手メディカルセンター大腸肛門外科

**O3-5 HIV-high-grade B-cell lymphoma, NOS に合併した左優位の三叉神経第 1、3 枝領域の neurolymphomatosis の一例**

岩本真一<sup>1)</sup>、米野由希子<sup>1)</sup>、森 一斗<sup>1)</sup>、  
木下 航<sup>1)</sup>、関 将行<sup>2)</sup>、柴崎仁志<sup>3)</sup>、  
鳥居秀嗣<sup>4)</sup>、山田滋雄<sup>5)</sup>、児玉 真<sup>6)</sup>、  
阿部佳子<sup>6)</sup>、柳 富子<sup>1)</sup>

- 1) JCHO東京山手メディカルセンター血液内科
- 2) JCHO東京山手メディカルセンター薬剤科
- 3) JCHO東京山手メディカルセンター耳鼻咽喉科
- 4) JCHO東京山手メディカルセンター皮膚科
- 5) JCHO東京山手メディカルセンター脳神経内科
- 6) JCHO東京山手メディカルセンター病理診断科

**O3-6 当院における非 AIDS 指標悪性腫瘍 21 例の後方視的検討**

中嶋恵理子<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、  
犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、  
南 留美<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部
- 3) 西福岡病院内科

■日時：12月3日(日) 9:40~10:28

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

**O4 (社・S) キープレゼンテーション**

座長 東 優子

(大阪公立大学大学院現代システム科学研究科人間科学分野)

塩野徳史

(大阪青山大学健康科学部看護学科)

**O4-1 若年層 MSM をコミュニティセンターに繋げた事例**

赤嶺友紀<sup>1,2)</sup>、玉城祐貴<sup>1,2)</sup>、塩野徳史<sup>3,4)</sup>

- 1) nankr沖縄
- 2) コミュニティセンターmabui
- 3) 大阪青山大学
- 4) mash大阪

**O4-2 郵送検査利用者アンケートからみた利用者属性、自己採血の困難感について一対面配布と WEB 配布の受け取り 2 群間の比較一**

金子典代<sup>1)</sup>、国見亮佑<sup>2)</sup>、太田 貴<sup>3)</sup>、  
星野慎二<sup>4)</sup>、岩橋恒太<sup>5)</sup>、石田敏彦<sup>6)</sup>、  
塩野徳史<sup>7)</sup>、町登志雄<sup>8)</sup>、新山 賢<sup>9)</sup>、  
船石翔馬<sup>10)</sup>、玉城祐貴<sup>11)</sup>

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 2) にじいろほっかいどう
- 3) やろっこ
- 4) 特定非営利活動法人SHIP
- 5) 特定非営利活動法人akta
- 6) エンジェルライフナゴヤ
- 7) 大阪青山大学
- 8) エイズ予防財団/MASH大阪
- 9) 一般社団法人カラフルドットライフ
- 10) 福岡コミュニティセンター-HACO
- 11) nankr

**O4-3 コロナ禍前後のセックスワーカーの就労状況と HIV 予防と検査受検に関する行動**

宮階真紀<sup>1,2)</sup>、今村顕史<sup>3)</sup>、塩野徳史<sup>4)</sup>、  
要友紀子<sup>1)</sup>、宮田りりい<sup>1)</sup>

- 1) SWASH
- 2) MASH大阪
- 3) 東京都立駒込病院
- 4) 大阪青山大学健康科学部看護学科

**O4-4 沖縄県における HIV 検査へのアクセスとその関連要因に関する調査：在沖外国人と日本人の比較**

Thi Hue Tran<sup>1)</sup>、北島 勉<sup>2)</sup>、宮首弘子<sup>3)</sup>、  
沢田貴志<sup>4)</sup>、中村秀太<sup>5)</sup>、新里尚美<sup>6)</sup>

- 1) 神戸女子大学文学部国際教養学科
- 2) 杏林大学総合政策学部
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所
- 5) 琉球大学医学部
- 6) 沖縄県感染症診療ネットワーク

**O4-5 東京都内における在留外国人を対象とした HIV 検査会の実施**

北島 勉<sup>1)</sup>、沢田貴志<sup>2)</sup>、宮首弘子<sup>3)</sup>、  
Hue Tran Thi<sup>4)</sup>、Chunyan Li<sup>5)</sup>、  
Supriya Shakya<sup>6)</sup>、生島 嗣<sup>7)</sup>、佐藤昭裕<sup>8)</sup>

- 1) 杏林大学総合政策学部
- 2) 神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所
- 3) 杏林大学外国語学部
- 4) 神戸女子大学文学部
- 5) 東京大学国際高等研究所東京カレッジ
- 6) エイズ予防財団
- 7) ぶれいす東京
- 8) KARADA内科クリニック

# 一般演題 (口演)

**O4-6** 常設夜間休日検査相談事業 (スマートらいふネット) における外国人受検者の動向について

毛受矩子、熊本光代、大角順子、若狭明美、徳永羊子、折井由美子、宮本伸枝、鎌田美恵子、上林孝子、沢田恵美子、井手津賀子、高田由紀子

特定非営利活動法人スマートらいふネット

**O5-4** 当院における急性 HIV 感染症の発生状況と臨床的特徴についての検討

鶴見 寿<sup>1,2)</sup>、石原正志<sup>3)</sup>、杉山仁美<sup>4)</sup>、手塚宜行<sup>5)</sup>、生駒良和<sup>1)</sup>、山口公大<sup>6)</sup>

- 1) 岐阜大学医学部附属病院血液感染症内科
- 2) 松波総合病院血液・腫瘍内科
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 岐阜大学医学部附属病院看護部
- 5) 岐阜大学大学院医学系研究科感染症寄附講座
- 6) 岐阜市民病院血液内科

■日時：12月3日(日) 9:40~10:28

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## O5 (臨・C) 症例報告 (COVID-19 ほか)

座長 笠松 悠

(大阪市立十三市民病院/大阪市立総合医療センター感染症内科)

田中 勝

(がん・感染症センター東京都立駒込病院感染症科)

**O5-5** COVID-19 を合併した HIV 感染者の臨床的特徴についての検討

彼谷裕康

富山県立中央病院感染症内科

**O5-6** HIV 脳症を契機に初めて診断された HIV 感染症の入院経過中に、SARS-CoV-2 のウイルス排出が鼻咽頭から長期間見られた 1 例

織田錬太郎<sup>1,2)</sup>、立石哲則<sup>1)</sup>

- 1) 東京都立多摩総合医療センター感染症内科
- 2) 東京ベイ・浦安市川医療センター感染症内科

**O5-1** HIV スクリーニング検査陽性で近医より紹介受診となった当日に COVID-19 で即入院、膀胱癌も判明し ART を導入した一例

石橋令臣、平井由児

東京医科大学八王子医療センター感染症科

■日時：12月3日(日) 9:40~10:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## O6 (臨・C) 肝炎

座長 松尾裕央

(大阪大学医学部附属病院感染制御部/感染症内科)

菊池 嘉

(国立国際医療研究センター)

**O5-2** ワクチン未接種状態で罹患した COVID-19 が重症化し、地域連携により社会復帰に至った外国人 HIV 感染症例

松本 彬<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>2)</sup>、小川孔幸<sup>1)</sup>、中村聡洋<sup>3)</sup>、石崎芳美<sup>3)</sup>、樋口裕哉<sup>4)</sup>、城田陽子<sup>5)</sup>、桑原陽子<sup>6)</sup>、関上里子<sup>6)</sup>、内海英貴<sup>7)</sup>、半田 寛<sup>1)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院血液内科
- 2) 群馬大学医学部附属病院感染制御部
- 3) 群馬大学医学部附属病院看護部
- 4) 群馬大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 群馬大学医学部附属病院医事課/エイズ予防財団
- 6) 群馬大学医学部附属病院患者支援センター
- 7) 医療法人社団日高会白根クリニック

**O5-3** 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) を契機に診断され、COVID-19 が遷延した HIV 感染症

須釜佑介<sup>1)</sup>、堀口拓人<sup>1)</sup>、稗田広美<sup>2)</sup>、川村志野<sup>2)</sup>、平賀多絵子<sup>2)</sup>、宮越郁子<sup>2)</sup>、又村了輔<sup>3)</sup>、國本雄介<sup>3)</sup>、種村理絵子<sup>4)</sup>、大橋伸英<sup>4)</sup>、小船雅義<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学附属病院血液内科
- 2) 札幌医科大学附属病院看護部
- 3) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 4) 札幌医科大学附属病院口腔外科

**O6-1** 当院における HIV/HBV 共感染例に関する考察

吉澤定子<sup>1)</sup>、柏木克仁<sup>2)</sup>、佐藤高広<sup>2)</sup>、森 岳雄<sup>2)</sup>、大谷真理子<sup>3,4)</sup>、塚田真弓<sup>4)</sup>、富田 学<sup>4)</sup>、前田 正<sup>2)</sup>、宮崎泰斗<sup>2,4)</sup>

- 1) 東邦大学医学部臨床検査医学講座/微生物・感染症学講座
- 2) 東邦大学医療センター大森病院総合診療急病センター感染症科
- 3) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部
- 4) 東邦大学医療センター大森病院感染管理部

**O6-2** 横浜市立市民病院で抗 HIV 薬を継続している患者における HBV バイオマーカーの推移

宮田順之<sup>1)</sup>、佐藤公亮<sup>2)</sup>、宗 佑奈<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>1)</sup>

- 1) 横浜市立市民病院感染症内科
- 2) 横浜市立市民病院救急診療科

# 一般演題（口演）

## O6-3 3TC/DTG 使用と B 型肝炎ウイルスのフォロー

横山翔大<sup>1)</sup>、鈴木陶磨<sup>1)</sup>、山川知宏<sup>1)</sup>、  
金澤沙衣<sup>2)</sup>、佐々木育子<sup>3)</sup>、田村亜沙香<sup>3)</sup>、  
濱名かおる<sup>3)</sup>、田中亜里紗<sup>3)</sup>、  
小川健一郎<sup>4)</sup>、築田昌明<sup>4)</sup>、若狭健太郎<sup>1)</sup>

- 1) 帯広厚生病院血液内科
- 2) 帯広厚生病院薬剤部
- 3) 帯広厚生病院看護部
- 4) 帯広厚生病院医療社会事業科

## O6-4 HIV/HCV 重複感染薬害患者における DAA 治療後の HCC 発症

上村 悠、小泉吉輝、中本貴人、  
安藤尚克、水島大輔、青木孝之、  
渡辺恒二、田沼順子、照屋勝治、瀧永博之

国立国際医療研究センター

## O6-5 血友病合併 HIV/HCV 重複感染による肝硬変患者に対する CBP/ $\beta$ -catenin 阻害剤 OP-724 の安全性、忍容性を検証する医師主導治験（第 1 相試験）

木村公則<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>3)</sup>、  
瀧永博之<sup>2)</sup>

- 1) 東京都立駒込病院肝臓内科
- 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院先端医療研究センター

## O6-6 当院通院中 HIV 患者における B 型肝炎ワクチン接種後の抗体価の推移

渋谷晃子、森 信好

聖路加国際病院感染症科

■日時：12月3日（日） 10:40~11:28

■会場：第5会場（2F ル・ポワ）

## O7（臨・C）PrEP・セクシャルヘルス

座長 塩尻大輔

（パーソナルヘルスクリニック）

村松 崇

（東京医科大学病院臨床検査医学科）

## O7-2 依存症専門外来の初診 3 年後予後調査における HIV 陽性者についての報告

西村康平、板橋登子、小林桜児、  
青山久美、黒澤文貴

神奈川県立精神医療センター

## O7-3 Sexual Health 外来における PrEP の有無による性感染症の超ハイリスク層の実態

水島大輔、高野 操、新谷由衣、  
安藤尚克、青木孝弘、渡辺恒二、  
上村 悠、瀧永博之

国立国際医療研究センター病院

## O7-4 PrEP 薬服用者の生活から見えてきた課題—手記集『わたしと PrEP』から—

翁長祐太<sup>1)</sup>、首藤真由美<sup>2)</sup>

- 1) カラフル@はーと
- 2) 早稲田大学大学院人間科学研究科

## O7-5 過去に実施した「PrEP に関する意識調査」の回答と実際の PrEP 開始に関するフォローアップ調査

高野 操、水島大輔、田中中和子、  
首藤真由美、新谷由衣、山中宏江、  
青木孝弘、渡辺恒二、安藤尚克、  
照屋勝治、瀧永博之、岡 慎一

国立研究開発法人国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## O7-6 MSM における *Mycoplasma genitalium* 感染症の有病率と耐性率

安藤尚克<sup>1)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、  
青木孝弘<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、水戸部森歌<sup>2)</sup>、  
小林甲斐<sup>2)</sup>、三宅啓文<sup>2)</sup>、久保田寛顕<sup>2)</sup>、  
鈴木 淳<sup>2)</sup>、貞升健志<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、  
瀧永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター
- 2) 東京都健康安全研究センター微生物部

## O7-1 HIV 陽性者を含む LGBTQ+ 当事者のための新しいオンライン依存症自助グループ “アディクション・ぼーと” の意義と価値

福正大輔、安孫子陽一、保坂嘉成、  
中野栄二、佐藤文彦、小山輝道、生島 嗣

ぶれいす東京

■日時：12月3日(日) 13:45~14:33

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 08 (臨・C) 抗HIV療法1

座長 安達英輔

(東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科)

中内崇夫

(国立病院機構京都医療センター薬剤部)

08-1 SOLAR 試験 12 か月の日本人参加者の結果：持効性カボテグラビル+リルピピリン(CAB+RPV LA)のBIC/FTC/TAF 経口療法に対する無作為化切り替え試験

安達英輔<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>3)</sup>、  
瀧永博之<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>、  
若田部るみ<sup>5)</sup>、Nadine Chamay<sup>6)</sup>、  
Kenneth Sutton<sup>7)</sup>、  
Denise Sutherland-Phillips<sup>7)</sup>、  
Rimgaile Urbaityte<sup>8)</sup>、  
Ronald D'Amico<sup>7)</sup>、Jean van Wyk<sup>6)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院  
2) 国立病院機構名古屋医療センター  
3) 国立病院機構大阪医療センター  
4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
5) ヴィーブヘルスケア株式会社  
6) ViiV Healthcare UK  
7) ViiV Healthcare USA  
8) GSK UK

08-2 持続性カボテグラビル+リルピピリンを導入した高齢で内服困難な HIV 感染症の 1 例

堀場昌英

国立病院機構東埼玉病院

08-3 カボテグラビル+リルピピリン投与後の炎症性バイオマーカー及び脂質プロファイルの変化

安達英輔、大谷天人、齋藤 真、  
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

08-4 カボテグラビル+リルピピリン投与時の薬剤による注射部位反応の違い

安達英輔、大谷天人、齋藤 真、  
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

08-5 カボテグラビル・リルピピリンの持効性注射剤の血中濃度に関する検討 第1報

矢倉裕輝<sup>1,2)</sup>、榎田宏幸<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>3)</sup>、  
松村拓朗<sup>3)</sup>、上地隆史<sup>3)</sup>、西田恭治<sup>3)</sup>、  
上平朝子<sup>3)</sup>、吉野宗宏<sup>3)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>、  
渡邊 大<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部  
2) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部  
3) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

08-6 薬剤師主導による CAB、RPV 注導入患者の投与スケジュール管理体制について

田中裕子<sup>1)</sup>、早川史織<sup>1)</sup>、工藤寛士<sup>1)</sup>、  
市田泰彦<sup>2)</sup>、井上真紀<sup>2)</sup>、金田 暁<sup>3)</sup>、  
筒井秀知<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター薬剤部  
2) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター看護部  
3) 独立行政法人国立病院機構千葉医療センター内科

■日時：12月3日(日) 13:45~14:33

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## 09 (基・B) COVID-19 (基礎)

座長 中山英美

(大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野)

齋藤 暁

(宮崎大学農学部獣医学科)

09-1 TMPRSS2 はウイルス産生細胞における CoV-2 スパイク輸送を制御する

宮内浩典、関紗由里、原田恵嘉、俣野哲朗

国立感染症研究所

09-2 SARS-CoV-2 Delta 株ブレイクスルー感染例から分離した抗体の交差中和活性

桑田岳夫、郭 悠、清水美紀子、  
Biswas Shashwata、松本佳穂、  
Khairy Hamdy Edri Ahmed、松下修三

熊本大学ヒトレトロウイルス共同研究センター



## 09-3 抗 SARS-CoV-2 メインプロテアーゼ阻害剤の創薬研究開発

鎌田伸好<sup>1)</sup>、辻 耕平<sup>2)</sup>、林 宏典<sup>3)</sup>、石井貴大<sup>2)</sup>、小早川拓也<sup>2)</sup>、中野堅太<sup>4)</sup>、服部真一郎<sup>1)</sup>、岸本直樹<sup>5)</sup>、高宗暢暁<sup>5)</sup>、青木宏美<sup>1,6)</sup>、Haydar Bulut<sup>7)</sup>、Debananda Das<sup>7)</sup>、今井正樹<sup>8,9)</sup>、木曾真紀<sup>8)</sup>、助永義和<sup>1)</sup>、高松悠樹<sup>1)</sup>、岡村匡史<sup>4)</sup>、三隅将吾<sup>5)</sup>、河岡義裕<sup>8,9,10)</sup>、玉村啓和<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>1,6,7)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部
- 2) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 3) 東北大学災害科学国際研究所
- 4) 国立国際医療研究センター研究所動物実験施設感染症制御研究部
- 5) 熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター環境分子保健学分野
- 6) 熊本大学附属病院
- 7) Experimental Retrovirology Section, NCI, NIH, DHHS
- 8) 東京大学医科学研究所ウイルス感染部門
- 9) 国立国際医療研究センター研究所国際ウイルス感染症センター
- 10) Influenza Research Institute, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin-Madison

## 09-4 ニルマトレルビルとその誘導体に耐性を示す SARS-CoV-2 変異株の誘導と耐性獲得機序の解明

服部真一郎<sup>1)</sup>、Haydar Bulut<sup>2)</sup>、岸本直樹<sup>3)</sup>、高宗暢暁<sup>3)</sup>、鎌田伸好<sup>1)</sup>、玉村啓和<sup>4)</sup>、満屋裕明<sup>1,2,5)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター研究所
- 2) National Cancer Institute, National Institutes of Health
- 3) 熊本大学大学院生命科学研究部
- 4) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所
- 5) 熊本大学病院総合臨床研究部

## 09-5 HIV 長期感染者における SARS-CoV-2 mRNA ワクチン誘導性 S 抗原特異的 T 細胞応答の解析

Thi Thu Thao Dang<sup>1,2)</sup>、細谷 (中山) 香<sup>1)</sup>、Alitzel Anzurez<sup>1,2)</sup>、田部亜季<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>3)</sup>、立川夏夫<sup>4)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2,5)</sup>、立川 (川名) 愛<sup>1,2,5)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 横浜市立市民病院感染症内科
- 4) 名寄市立総合病院総合内科
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当

## 09-6 SARS-CoV-2 感染が PLWH に及ぼす腸内細菌叢変化と病態との相関関係

水谷壮利<sup>1)</sup>、石坂 彩<sup>2)</sup>、古賀道子<sup>2)</sup>、山吉誠也<sup>3,4)</sup>、岩附研子<sup>3)</sup>、安達英輔<sup>5)</sup>、鈴木 穰<sup>1)</sup>、河岡義裕<sup>3,4,6,7)</sup>、四柳 宏<sup>2,5)</sup>

- 1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 3) 東京大学医科学研究所ウイルス感染部門
- 4) 国立国際医療研究センター国際ウイルス感染症研究センター
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 6) Influenza Research Institute, Department of Pathobiological Sciences, School of Veterinary Medicine, University of Wisconsin Madison, Madison, WI, USA
- 7) 東京大学国際高等研究所新世代感染症センター

■日時：12月3日(日) 13:45~14:25

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## 010 (臨・C) 抗 HIV 療法 2

座長 関谷綾子

(東京医科大学臨床検査医学分野)

平野 淳

(国立病院機構名古屋医療センター薬剤部)

## 010-1 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第1報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨<sup>1)</sup>、川戸美由紀<sup>2)</sup>、橋本修二<sup>2)</sup>、三重野牧子<sup>3)</sup>、天野景裕<sup>4)</sup>、大金美和<sup>5)</sup>、岡本 学<sup>1)</sup>、湯永博之<sup>5)</sup>、日笠 聡<sup>5)</sup>、八橋 弘<sup>7)</sup>、岡 慎一<sup>5)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) 藤田医科大学
- 3) 自治医科大学
- 4) 東京医科大学
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 兵庫医科大学
- 7) 国立病院機構長崎医療センター

## 010-2 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2023 年)

関根祐介<sup>1)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、小島賢一<sup>4)</sup>

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 4) 荻窪病院血液凝固科

**O10-3 HIV 感染患者における抗 HIV 薬と併用薬の使用状況及び抗 HIV 療法の治療満足度との関連：患者報告アウトカム多施設共同研究**

登佳寿子<sup>1)</sup>、日笠真一<sup>2)</sup>、石原正志<sup>3)</sup>、  
築地茉莉子<sup>4)</sup>、國本雄介<sup>5)</sup>、木村丈司<sup>6)</sup>、  
山本有紀<sup>7)</sup>、治田匡平<sup>8)</sup>、柏原陽平<sup>9)</sup>、  
藤井健司<sup>10)</sup>

- 1) 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 6) 神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 7) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤部
- 8) 奈良県立医科大学病院薬剤部
- 9) 京都第一赤十字病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部

**O10-4 PBPM に基づく薬剤師面談は外来患者の薬物治療の適正化とアドヒアランス向上をもたらす**

神成はるか<sup>1)</sup>、西松直美<sup>1)</sup>、小谷 宙<sup>1)</sup>、  
櫻井洋臣<sup>1)</sup>、村松 博<sup>1)</sup>、青森 達<sup>1,2,3)</sup>、  
大谷壽一<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 慶應義塾大学病院薬剤部
- 2) 慶應義塾大学薬学部
- 3) 慶應義塾大学医学部

**O10-5 インテグラーゼ阻害薬を含む STR 服用患者における服薬不遵守の危険因子：患者報告アウトカム多施設共同研究**

國本雄介<sup>1)</sup>、日笠真一<sup>2)</sup>、石原正志<sup>3)</sup>、  
築地茉莉子<sup>4)</sup>、登佳寿子<sup>5)</sup>、木村丈司<sup>6)</sup>、  
山本有紀<sup>7)</sup>、治田匡平<sup>8)</sup>、柏原陽平<sup>9)</sup>、  
藤井健司<sup>10)</sup>、福土将秀<sup>1)</sup>

- 1) 札幌医科大学附属病院
- 2) 兵庫医科大学病院
- 3) 岐阜大学医学部附属病院
- 4) 千葉大学医学部附属病院
- 5) 神戸市立医療センター中央市民病院
- 6) 神戸大学医学部附属病院
- 7) 姫路医療センター
- 8) 奈良県立医科大学附属病院
- 9) 京都第一赤十字病院
- 10) 広島大学病院

■日時：12月3日(日) 14:40~15:28

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## O11 (臨・C) 抗 HIV 療法 3

座長 日笠真一  
(兵庫医科大学病院)

吉野宗宏  
(国立病院機構大阪医療センター)

**O11-1 横浜市立市民病院におけるカボテグラビル・リルピピリン持効性注射製剤の使用状況**

宗 佑奈、佐藤公亮、宮田順之、吉村幸浩  
横浜市立市民病院感染症内科

**O11-2 医薬品副作用データベース(JADER)を用いたプロテアーゼ阻害薬及びインテグラーゼ阻害薬の高血糖/糖尿病の発症リスクに関する検討**

工藤正樹<sup>1)</sup>、高瀬野乃花<sup>2)</sup>、朝賀純一<sup>1,2)</sup>、  
工藤賢三<sup>1,2)</sup>

- 1) 岩手医科大学附属病院薬剤部
- 2) 岩手医科大学薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野

**O11-3 抗 HIV 療法開始後における多剤併用に関する検討**

黒田訓宏、日笠真一、島袋翔多、  
秀田恭子、田中邦佳、柳井美奈、木村 健  
兵庫医科大学病院薬剤部

**O11-4 ビクトルビ配合錠 PTP 包装変更における患者動向の変化と薬剤師の関わり**

海老昌子<sup>1)</sup>、澤田智世<sup>1)</sup>、野口梨紗<sup>1)</sup>、  
山本奈緒<sup>1)</sup>、富澤星華<sup>1)</sup>、白井莉和子<sup>2)</sup>、  
中村文哉<sup>3)</sup>、松井 洸<sup>4)</sup>、阿部真也<sup>4)</sup>、  
山口 浩<sup>4)</sup>、野村和彦<sup>4)</sup>

- 1) 調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
- 2) 調剤薬局ツルハドラッグ世田谷千歳台店
- 3) 株式会社ツルハ
- 4) ツルハHD

**O11-5 当院における HIV ウイルス指向性による患者背景の考察**

柏木克仁<sup>1)</sup>、吉澤定子<sup>2,3)</sup>、森 岳雄<sup>1)</sup>、  
佐藤高広<sup>1)</sup>、前田 正<sup>1)</sup>、宮崎泰斗<sup>1)</sup>、  
石井良和<sup>2)</sup>、舘田一博<sup>2)</sup>

- 1) 東邦大学医療センター大森病院総合感染症科
- 2) 東邦大学微生物・感染症学講座
- 3) 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部

## O11-6 当院に通院中の患者を対象とした、陽性者支援のありかたに関するアンケート調査

坂部茂俊<sup>1)</sup>、磯田理沙<sup>2)</sup>、村田 舞<sup>2)</sup>、小倉香里<sup>2)</sup>、福岡志延<sup>2)</sup>、森尾志保<sup>2)</sup>、藤井義典<sup>3)</sup>、服部公紀<sup>4)</sup>、田中宏幸<sup>1)</sup>、中西雄紀<sup>1)</sup>、豊嶋弘一<sup>1)</sup>

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 伊勢赤十字病院看護部
- 3) 伊勢赤十字病院医療社会事業部
- 4) 伊勢赤十字病院薬剤部

■日時：12月3日(日) 14:40~15:12

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

### O12 (基・B) 潜伏感染・リザーバー

座長 高橋尚史

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

立川 愛

(国立感染症研究所)

## O12-1 HIV-1 感染における単球分画の解析

高橋尚史、Youssef Eltalkhawy、Randa Ahmed、鈴 伸也

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

## O12-2 Assessment of oral ART on the HIV-reservoir size in the natural controller non-human primate model

Keshta Abeer<sup>1)</sup>、Kovba Anastasiia<sup>1)</sup>、鷺崎彩夏<sup>1)</sup>、松岡和弘<sup>2)</sup>、平野 淳<sup>2)</sup>、大出裕高<sup>2)</sup>、岩谷靖雅<sup>2)</sup>、保富康宏<sup>3)</sup>、原田恵嘉<sup>4)</sup>、石井 洋<sup>4)</sup>、俣野哲朗<sup>4)</sup>、三浦智行<sup>5)</sup>、Grover Poonam<sup>1)</sup>、Kidiga Maureen<sup>1)</sup>、林 咲良<sup>1)</sup>、Zaixi Fang<sup>1)</sup>、明里宏文<sup>1)</sup>

- 1) 京都大学ヒト行動進化研究センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター・臨床研究センター
- 3) 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医学研究センター
- 4) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 5) 京都大学医生物学研究所

## O12-3 単球系リザーバ細胞におけるプロウイルス活性制御因子 SCP の解析

多賀 佳<sup>1)</sup>、武内寛明<sup>2,3,4)</sup>

- 1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学分野
- 2) 国立大学法人東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
- 3) 国立大学法人東京医科歯科大学大学院統合研究機構リサーチコアセンター
- 4) 東京医科歯科大学病院

## O12-4 HIV 感染細胞にアポトーシスを誘導する植物抽出物

藤田美歌子<sup>1)</sup>、田原由莉歌<sup>1)</sup>、王 東星<sup>2)</sup>、立石 大<sup>1)</sup>、戸上暉大<sup>1)</sup>、大塚雅巳<sup>1,3)</sup>、前田洋助<sup>4)</sup>、渡邊高志<sup>2)</sup>、門出和精<sup>4)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
- 2) 熊本大学大学院生命科学研究部薬用植物学分野
- 3) サイエンスファーム株式会社
- 4) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野

■日時：12月3日(日) 14:40~15:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

### O13 (臨・C) 抗HIV療法4

座長 尾崎淳子

(京都大学医学部附属病院薬剤部)

治田匡平

(奈良県立医科大学附属病院薬剤部)

## O13-1 NDB データを用いた HIV 感染者の医療費分析：エイズ発症群と未発症群の比較

谷口俊文<sup>1)</sup>、尾又一実<sup>2)</sup>、今橋真弓<sup>3)</sup>、野田龍也<sup>4)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科
- 2) 国立国際医療研究センターデータサイエンス部
- 3) 名古屋医療センター臨床研究センター感染免疫研究部
- 4) 奈良県立医科大学公衆衛生学講座

## O13-2 診断されて25年以上経過している HIV 感染者の現状

古屋裕理<sup>1)</sup>、池谷健一<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>1)</sup>、竹内裕紀<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>2)</sup>、四本美保子<sup>2)</sup>、萩原 剛<sup>2)</sup>、天野景裕<sup>2)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>

- 1) 東京医科大学病院薬剤部
- 2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

## O13-3 血液製剤院外処方への取り組みと薬薬連携による患者サポートの整備

松永真実<sup>1,2)</sup>、合原嘉寿<sup>1,2)</sup>、山口泰弘<sup>1,2)</sup>、藤瀬陽子<sup>1,2)</sup>、大橋邦央<sup>1,2)</sup>、橋本雅司<sup>1,2)</sup>、中嶋恵理子<sup>2,3)</sup>、高濱宗一郎<sup>2,3)</sup>、南 留美<sup>2,3)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター
- 3) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

**O13-4** 広島大学病院における CAB+RPV 注射薬導入時の薬剤師による患者意思決定支援

石井聡一郎<sup>1)</sup>、藤井健司<sup>1)</sup>、板村まりの<sup>1)</sup>、天野莉沙<sup>1)</sup>、大東敏和<sup>1)</sup>、藤井輝久<sup>2)</sup>、松尾裕彰<sup>1)</sup>

- 1) 広島大学病院薬剤部
- 2) 広島大学病院エイズ医療対策室

**O13-5** HIV 感染患者におけるウイルス抑制とその関連因子：患者報告アウトカム多施設共同研究

木村丈司<sup>1)</sup>、日笠真一<sup>2)</sup>、石原正志<sup>3)</sup>、築地茉莉子<sup>4)</sup>、國本雄介<sup>5)</sup>、登佳寿子<sup>6)</sup>、山本有紀<sup>7)</sup>、治田匡平<sup>8)</sup>、柏原陽平<sup>9)</sup>、藤井健司<sup>10)</sup>

- 1) 神戸大学医学部附属病院薬剤部
- 2) 兵庫医科大学病院薬剤部
- 3) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部
- 4) 千葉大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 札幌医科大学附属病院薬剤部
- 6) 神戸市立医療センター中央市民病院薬剤部
- 7) 独立行政法人国立病院機構姫路医療センター薬剤部
- 8) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 9) 京都第一赤十字病院薬剤部
- 10) 広島大学病院薬剤部

**O13-6** カボテグラビル+リルピビリンの使用経験と POMS による精神神経系有害事象の評価

合原嘉寿<sup>1,2,3)</sup>、山口泰弘<sup>1,2,3)</sup>、松永真実<sup>1,2,3)</sup>、橋本雅司<sup>1,2)</sup>、木下理沙<sup>2,3)</sup>、曾我真千恵<sup>2,3)</sup>、中嶋恵理子<sup>2,3,4)</sup>、高濱宗一郎<sup>2,3,4)</sup>、南 留美<sup>2,3,4)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター
- 3) 国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター
- 4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

■日時：12月3日（日） 15:40~16:12

■会場：第5会場（2F ル・ポワ）

## O14（社・S）疫学

座長 本間隆之

（山梨県立大学看護学部）

高濱宗一郎

（国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科）

**O14-1** HIV 感染症における早期 ART の効果についての推計

尾又一実<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>2)</sup>、野田龍也<sup>3)</sup>、谷口俊文<sup>4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) 名古屋医療センター
- 3) 奈良県立医科大学
- 4) 千葉大学

**O14-2** HIV 陽性者における性感染症の実態

松川敏大<sup>1,2)</sup>、遠藤知之<sup>1,2)</sup>、長井 惇<sup>1,3)</sup>、宮島 徹<sup>1,3)</sup>、須藤啓斗<sup>1,3)</sup>、長谷川祐太<sup>1,2)</sup>、荒 隆英<sup>1,2)</sup>、後藤秀樹<sup>1,2)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1,2)</sup>

- 1) 北海道大学大学院血液内科学
- 2) 北海道大学病院HIV診療支援センター
- 3) エイズ予防財団

**O14-3** COVID-19 パンデミックがエイズ中核拠点病院の HIV/AIDS 診療に及ぼした影響とパンデミック下におけるエイズ診療の課題

齊藤誠司<sup>1)</sup>、山崎由佳<sup>2)</sup>、河野泰宏<sup>2)</sup>、安岡悠典<sup>2)</sup>、野田綾香<sup>2)</sup>、野村直幸<sup>2)</sup>、木梨貴博<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>2)</sup>、福井洋介<sup>2)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター広島県東部地区エイズ治療センター

**O14-4** 福岡県内の STI 関連病院におけるアンケート調査

高濱宗一郎<sup>1)</sup>、中嶋恵理子<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
- 2) 国立病院機構九州医療センター看護部

■日時：12月3日(日) 15:40~16:28

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## 015 (臨・C) 薬剤耐性・その他

座長 菊地 正

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

四本美保子

(東京医科大学臨床検査医学分野)

**O15-1** 日本における治療選択肢の限られた people living with HIV (PLWH with LTO [limited treatment options]) の有病率と臨床的特徴：MDV レセプトデータ解析

原田圭輔<sup>1)</sup>、Yi Piao<sup>1)</sup>、Annalisa Rubino<sup>2)</sup>、Dylan Mezzio<sup>3)</sup>、KuanYeh Lee<sup>4)</sup>、井上幸恵<sup>5)</sup>、増田有里子<sup>5)</sup>、田口 直<sup>1)</sup>、谷川哲也<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>6)</sup>

- 1) ギリアド・サイエンシズ株式会社メディカルアフェアーズ本部
- 2) Gilead Sciences Europe Ltd.
- 3) Gilead Sciences, Inc.
- 4) Gilead Sciences, Global Medical Affairs
- 5) クレコンメディカルアセスメント株式会社
- 6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

**O15-2** 日本人 HIV 患者における TAF/TFV/FTC の薬物動態および薬理遺伝学解析

土屋亮人<sup>1)</sup>、Hieu Trung Tran<sup>1,2)</sup>、川島 亮<sup>1,2)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、濱田哲暢<sup>3,4)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
- 3) 国立がん研究センター研究所分子薬理研究分野
- 4) 熊本大学大学院医学教育部腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野

**O15-3** 2022年度 HIV-1 薬剤耐性検査外部精度評価の報告

吉田 繁<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>2)</sup>、今橋真弓<sup>2)</sup>、岡田清美<sup>3)</sup>、齊藤浩一<sup>4)</sup>、林田庸総<sup>5)</sup>、佐藤かおり<sup>6)</sup>、藤澤真一<sup>6)</sup>、遠藤知之<sup>7)</sup>、西澤雅子<sup>8)</sup>、椎野禎一郎<sup>5)</sup>、瀧永博之<sup>5)</sup>、豊嶋崇徳<sup>7)</sup>、杉浦 互<sup>5)</sup>、吉村和久<sup>9)</sup>、菊地 正<sup>8)</sup>

- 1) 北海道医療大学医療技術学部臨床検査学科
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 4) LSIメディエンス
- 5) 国立国際医療研究センター
- 6) 北海道大学病院検査・輸血部
- 7) 北海道大学病院血液内科
- 8) 国立感染症研究所
- 9) 東京都健康安全研究センター

**O15-4** 2022年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向

菊地 正<sup>1)</sup>、西澤雅子<sup>1)</sup>、小島潮子<sup>1)</sup>、大谷眞智子<sup>1)</sup>、Lucky Runtwene<sup>1)</sup>、椎野禎一郎<sup>1,4)</sup>、豊嶋崇徳<sup>2)</sup>、伊藤俊広<sup>3)</sup>、林田庸総<sup>4)</sup>、瀧永博之<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、古賀道子<sup>5)</sup>、長島真美<sup>6)</sup>、貞升健志<sup>6)</sup>、佐野貴子<sup>7)</sup>、近藤真規子<sup>7)</sup>、宇野俊介<sup>8)</sup>、谷口俊文<sup>9)</sup>、猪狩英俊<sup>9)</sup>、寒川 整<sup>10)</sup>、中島秀明<sup>10)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 北海道大学
- 3) 仙台医療センター
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 東京大学医科学研究所
- 6) 東京都健康安全研究センター
- 7) 神奈川県衛生研究所
- 8) 慶應義塾大学
- 9) 千葉大学
- 10) 横浜市立大学

**O15-5** Comparative Assessment of Anal Human Papillomavirus Genotyping Assays : Discordance between the Linear Array and LiPA25 Systems for High-Risk Genotypes.

藤本加代

University of Texas Health Science Center at Houston

**O15-6** ウイルス学的寛解継続中における CD4 数増加に関する影響因子の同定

藤井輝久<sup>1)</sup>、山崎尚也<sup>2)</sup>、中十奈苗<sup>2)</sup>、藤井宝恵<sup>2)</sup>、矢内綾佳<sup>3)</sup>、小松真由美<sup>3)</sup>、山岡愛子<sup>3)</sup>、野間慎尋<sup>3)</sup>

- 1) 広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室
- 2) 広島大学病院輸血部
- 3) 広島大学病院診療支援部

■日時：12月3日(日) 15:40~16:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## 016 (臨・C) 薬害・高齢化

座長 仲村秀太

(琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科)

澤田暁宏

(兵庫医科大学呼吸器・血液内科)

### 016-1 仙台医療センターで行った血友病薬害被害者対象の冠動脈スクリーニング検査の結果

今村淳治<sup>1)</sup>、佐々木晃子<sup>1)</sup>、安藤友季<sup>1)</sup>、尾上紀子<sup>2)</sup>、篠崎 毅<sup>2)</sup>、伊藤俊広<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構仙台医療センター感染症内科  
2) 同循環器内科

### 016-2 入院後に判明した HIV 感染症患者を多職種で連携することで当院で加療及び訪問診療の導入ができた 1 例

江藤謙吾<sup>1)</sup>、高佐頭之<sup>2)</sup>、山下智史<sup>2)</sup>、渡久山哲男<sup>2)</sup>、伊藤 俊<sup>2)</sup>、中川潤一<sup>2)</sup>

1) 相模原市立藤野診療所  
2) 相模原市赤十字病院

### 016-3 北陸ブロックにおける HIV 感染者の 5 年間の変化についての検討

渡邊珠代<sup>1)</sup>、辻 典子<sup>2)</sup>、朝倉英策<sup>3)</sup>、森永浩次<sup>4)</sup>、吉尾伸之<sup>5)</sup>、井上 仁<sup>6)</sup>、今村 信<sup>7)</sup>、清水和朗<sup>8)</sup>、高松秀行<sup>9)</sup>、宮嶋友希<sup>10)</sup>、彼谷裕康<sup>11)</sup>、岩崎博道<sup>12)</sup>

1) 石川県立中央病院免疫感染症科  
2) 石川県立中央病院HIV事務室  
3) 金沢大学附属病院  
4) 福井県立病院  
5) 国立病院機構金沢医療センター  
6) 国立病院機構敦賀医療センター  
7) 福井赤十字病院  
8) 市立敦賀病院  
9) 黒部市民病院  
10) 富山大学附属病院  
11) 富山県立中央病院  
12) 福井大学医学部附属病院

### 016-4 当院通院中の PLWH (People Living With HIV) におけるフレイル有病率とその関連因子に関する検討

仲村秀太<sup>1)</sup>、高江洲壮<sup>1)</sup>、前田サオリ<sup>2)</sup>、宮城京子<sup>2)</sup>、大田久美子<sup>3)</sup>、上原 仁<sup>3)</sup>、諸見里牧子<sup>3)</sup>、饒平名聖<sup>4)</sup>、新里尚美<sup>5)</sup>、石郷岡美穂<sup>6)</sup>、上 薫<sup>7)</sup>、金城隆展<sup>8)</sup>、山本和子<sup>1)</sup>

1) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科  
2) 琉球大学病院看護部  
3) 琉球大学病院薬剤部  
4) 琉球大学病院検査・輸血部  
5) 沖縄県感染症診療保健医療部ワクチン接種等戦略課  
6) 琉球大学病院医療福祉センター  
7) 琉球大学大学院医学研究科脳神経外科学  
8) 琉球大学病院地域・国際医療部

### 016-5 外来における HIV 感染高齢患者への在宅療養支援の看護実践

鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、坂井志麻<sup>2)</sup>

1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院  
2) 上智大学総合人間学部看護学科

### 016-6 死亡例から考える外来通院患者への関わり方

松本雅美、宮崎直子、大淵和子、中山 智、吉村幸浩

横浜市立市民病院

■日時：12月3日(日) 16:40~17:36

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 017 (臨・C) 母子感染

座長 高野政志

(防衛医科大学校病院産科婦人科)

田中瑞恵

(国立国際医療研究センター小児科)

### 017-1 COVID-19 パンデミックによる HIV 感染妊婦およびその出生児の診療への影響

吉野直人<sup>1,2)</sup>、伊藤由子<sup>2)</sup>、岩動ちず子<sup>2)</sup>、小山理恵<sup>2)</sup>、菊池琴佳<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>1,2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

1) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野  
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

## O17-2 若年への HIV 母子感染に関する情報の普及啓発方法の検討—意見交換会と参加者アンケート結果から—

羽柴知恵子<sup>1)</sup>、渡邊英恵<sup>2)</sup>、高野政志<sup>3)</sup>、  
蜂谷敦子<sup>4)</sup>、喜多恒和<sup>5)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
- 3) 防衛医科大学校病院
- 4) 東京医科大学病院
- 5) 奈良県総合医療センター

## O17-3 HIV 感染妊娠における分娩時母体への AZT 投与に関する検討

杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、竹田善則<sup>2)</sup>、山中彰一郎<sup>2)</sup>、  
市田宏司<sup>2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、  
高野政志<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、  
藤田 綾<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、  
山田里佳<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、  
出口雅士<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 武蔵野赤十字病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

## O17-4 HIV 母子感染全国一次調査質問項目の後方視的考察

吉野直人<sup>1,2)</sup>、高橋尚子<sup>1,2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、  
出口雅士<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、  
林 公一<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班

## O17-5 HIV 感染妊娠に関する情報の普及啓発方法の開発～SNS を活用した若者への情報発信の試み～

高野政志<sup>1,2)</sup>、喜多恒和<sup>2,3)</sup>、川島史奈<sup>3)</sup>、  
榎本美喜子<sup>2,4)</sup>、藤田 綾<sup>2,4)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、  
蓮尾泰之<sup>2)</sup>、林 公一<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、  
佐久本薫<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2,4)</sup>

- 1) 防衛医科大学校病院産科婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班
- 3) 株式会社キタイエ
- 4) 奈良県総合医療センター

## O17-6 啓発資料事前配付による妊娠初期女性の HIV 感染・性感染症に対する理解度調査

浅野 真<sup>1,2)</sup>、高野政志<sup>2,3)</sup>、石橋理子<sup>2)</sup>、  
佐野貴子<sup>2)</sup>、瀬戸理玄<sup>2)</sup>、谷村憲司<sup>2)</sup>、  
多田和美<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、  
森實真由美<sup>2)</sup>、榎本美喜子<sup>2,4)</sup>、  
藤田 綾<sup>2,4)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、  
高橋尚子<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
北島浩二<sup>2)</sup>、山田里佳<sup>2)</sup>、林 公一<sup>2)</sup>、  
喜多恒和<sup>2,4)</sup>

- 1) 東京都立大塚病院産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班
- 3) 防衛医科大学校病院産科婦人科
- 4) 奈良県総合医療センター

## O17-7 小児 HIV 感染症の発生動向および診断時の状況の変遷 (第 2 報)

田中瑞恵<sup>1,2)</sup>、外川正生<sup>1,2)</sup>、兼重昌夫<sup>1,2)</sup>、  
細川真一<sup>2)</sup>、前田尚子<sup>2)</sup>、寺田志津子<sup>2)</sup>、  
中河秀憲<sup>2)</sup>、時川麻紀<sup>1,2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、  
杉浦 敦<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 厚生労働省科学補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班 (母子感染研究班)

■日時：12月3日(日) 16:40~17:28

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## O18 (臨・C) HAND・心理

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター)

森田眞子

(国立病院機構大阪医療センター臨床心理室)

## O18-1 中国四国地方における HIV 関連神経認知障害に関する研究・続報

木原久文<sup>1)</sup>、中尾 綾<sup>1)</sup>、臼井麻子<sup>2)</sup>、  
西田拓洋<sup>3)</sup>、徳井恵美<sup>4)</sup>、海面 敬<sup>5)</sup>、  
赤松祐美<sup>6)</sup>、谷 英俊<sup>6)</sup>、池谷千恵<sup>7)</sup>、  
中村美保<sup>3)</sup>、川田通子<sup>4)</sup>、武内世生<sup>3)</sup>、  
佐藤 譲<sup>2)</sup>、今滝 修<sup>4)</sup>、尾崎修治<sup>5)</sup>、  
和田秀穂<sup>6)</sup>、千酌浩樹<sup>7)</sup>、川邊憲太郎<sup>1)</sup>、  
山之内純<sup>1)</sup>、高田清式<sup>1)</sup>

- 1) 愛媛大学医学部附属病院
- 2) 関門医療センター
- 3) 高知大学医学部附属病院
- 4) 香川大学医学部附属病院
- 5) 徳島県立中央病院
- 6) 川崎医科大学附属病院
- 7) 鳥取大学医学部附属病院

**O18-2** 多職種介入により継続的な外来支援を継続できている HIV 関連神経認知障害の一例

廣瀬友城<sup>1,2)</sup>、飯田敏晴<sup>1)</sup>、諸井文子<sup>1)</sup>、堀場昌英<sup>1)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構東埼玉病院  
2) 医療法人輔仁会大宮厚生病院

**O18-3** HIV 感染者の気分状態と睡眠に関する検討 第2報

中尾 綾<sup>1)</sup>、レイシー清美<sup>1)</sup>、若松 綾<sup>2)</sup>、末盛浩一郎<sup>1)</sup>、河邊憲太郎<sup>3)</sup>、山之内純<sup>1)</sup>、竹中克斗<sup>1)</sup>、高田清式<sup>4)</sup>

- 1) 愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学  
2) 愛媛大学医学部附属病院看護部  
3) 愛媛大学大学院精神神経科学  
4) 愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター

**O18-4** HIV 感染症患者のメンタルヘルスを考える看護職と心理職の協働を考える—シンポジウムアンケートの結果を振り返って—

木村聡太<sup>1)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、戸蒔祐子<sup>3)</sup>、大友 健<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究センター  
2) 国立病院機構九州医療センター  
3) 慶應義塾大学病院  
4) 国立病院機構名古屋医療センター

**O18-5** HIV 診療における CoCoBattery の活用方法

西田拓洋<sup>1)</sup>、中尾 綾<sup>2)</sup>、臼井麻子<sup>3)</sup>、海面 敬<sup>4)</sup>、徳井恵美<sup>5)</sup>、赤松祐美<sup>6)</sup>、谷 英俊<sup>6)</sup>、池谷知恵<sup>7)</sup>、中村美保<sup>1)</sup>、川田通子<sup>5)</sup>、武内世生<sup>1)</sup>、佐藤 穰<sup>3)</sup>、尾崎修治<sup>4)</sup>、今滝 修<sup>5)</sup>、和田秀穂<sup>6)</sup>、千酌浩樹<sup>7)</sup>、河邊憲太郎<sup>2)</sup>、山之内純<sup>2)</sup>、高田清式<sup>2)</sup>

- 1) 高知大学医学部附属病院  
2) 愛媛大学医学部附属病院  
3) 関門医療センター  
4) 徳島県立中央病院  
5) 香川大学医学部附属病院  
6) 川崎医科大学附属病院  
7) 鳥取大学医学部附属病院

**O18-6** HIV 感染者を対象とした Unmet Needs に関する研究の動向

鍵浦文子

広島国際大学

■日時：12月3日(日) 16:40~17:28

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

**O19 (臨・C) アンコール 1**

座長 谷口俊文

(千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科)

四本美保子

(東京医科大学臨床検査医学分野)

**O19-1** 持効性カボテグラビル+リルピビリンの維持療法 152 週における Patient-reported outcomes : ATLAS-2M 後期第 III 相臨床試験

中村慎之介<sup>1)</sup>、Vasiliki Chounta<sup>2)</sup>、Edgar T. Overton<sup>3)</sup>、Sebastian Noe<sup>4)</sup>、Susan Swindells<sup>5)</sup>、Eugenia Negredo<sup>6)</sup>、Ronald D'Amico<sup>7)</sup>、Conn Harrington<sup>7)</sup>、Simon Vanveggele<sup>8)</sup>、Rodica van Solingen-Ristea<sup>9)</sup>、Yuanyuan Wang<sup>9)</sup>、Carolina Acuiplil<sup>7)</sup>、William R. Spreen<sup>7)</sup>

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社  
2) ViiV Healthcare, UK  
3) University of Alabama at Birmingham, USA  
4) MVZ Munchen Am Goetheplatz, Germany  
5) University of Nebraska Medical Center, USA  
6) Germans Trias i Pujol University Hospital, Spain  
7) ViiV Healthcare, USA  
8) Janssen Research & Development, Belgium  
9) GSK, USA

**O19-2** 欧州における持効性カボテグラビル+リルピビリン (CAB+RPV LA) 実装試験 CARISEL で見出された患者の認識

細野耕平<sup>1)</sup>、Thomas Lutz<sup>2)</sup>、Eliette Jeanmaire<sup>3)</sup>、Joaquin Portilla<sup>4)</sup>、Jenny Scherzer<sup>5)</sup>、Rekha Trehan<sup>6)</sup>、Miguel Pascaul-Bernaldez<sup>7)</sup>、Rebecca DeMoor<sup>8)</sup>、Mounir Ait-Khaled<sup>6)</sup>、Monica Hadi<sup>9)</sup>、Savita Bakhshi Anand<sup>9)</sup>、Emma L. Low<sup>9)</sup>、Maggie Czarnogorski<sup>10)</sup>、Cassidy A. Gutner<sup>10)</sup>

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社  
2) Infektio Research, Germany  
3) CHRU de Nancy, France  
4) Hospital General Universitario de Alicante, Spain  
5) ViiV Healthcare GmbH, Germany  
6) ViiV Healthcare, UK  
7) ViiV Healthcare, Spain  
8) GSK, USA  
9) Evidera, UK  
10) ViiV Healthcare, USA



**O19-3 持効性カボテグラビル+リルピビリンの bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide に対する Patient-reported outcomes : SOLAR 後期第 III 相臨床試験 12 カ月の結果**

渡邊 大<sup>1)</sup>、Vasiliki Chounta<sup>2)</sup>、Cristina Mussini<sup>3)</sup>、Charles Cazanave<sup>4)</sup>、安達英輔<sup>5)</sup>、Beng Eu<sup>6)</sup>、Marta Montero Alonso<sup>7)</sup>、Gordon Crofoot<sup>8)</sup>、Kenneth Sutton<sup>9)</sup>、Denise Sutherland-Phillips<sup>9)</sup>、Rimgaile Urbaityte<sup>10)</sup>、Alice Ehmann<sup>11)</sup>、Patricia de los Rios<sup>9)</sup>、Ronald D'Amico<sup>9)</sup>、William R. Spreen<sup>9)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター
- 2) ViiV Healthcare, UK
- 3) University of Modena and Reggio Emilia, Italy
- 4) Pellegrin Hospital, University Hospital of Bordeaux, France
- 5) 東京大学医科学研究所附属病院
- 6) Prahran Market Clinic, Australia
- 7) La Fe University and Polytechnic Hospital, Spain
- 8) The Crofoot Research Center, INC., USA
- 9) ViiV Healthcare, USA
- 10) GSK, UK
- 11) GSK, USA

**O19-4 持効性カボテグラビル+リルピビリンの性別、年齢、人種および BMI によるサブグループ解析 : SOLAR 後期第 III 相臨床試験**

岡 慎一<sup>1)</sup>、Beng Eu<sup>2)</sup>、James Sims<sup>3)</sup>、Vicente Estrada<sup>4)</sup>、Mehri McKellar<sup>5)</sup>、Juan Flores<sup>6)</sup>、Anja Potthoff<sup>7,8)</sup>、Lori A. Gordon<sup>9)</sup>、Denise Sutherland-Phillips<sup>9)</sup>、Kenneth Sutton<sup>9)</sup>、Christine L. Latham<sup>9)</sup>、Alessandro Berni<sup>10)</sup>、Rimgaile Urbaityte<sup>10)</sup>、Rodica Van Solingen-Ristea<sup>11)</sup>、Ronald D'Amico<sup>9)</sup>、Harmony P. Garges<sup>9)</sup>、Kimberly Smith<sup>9)</sup>、Jean van Wyk<sup>12)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 2) Prahran Market Clinic, Australia
- 3) St. Hope Foundation, USA
- 4) Hospital Clinico San Carlos, Spain
- 5) Duke University School of Medicine, USA
- 6) Hospital Arnau de Vilanova, Spain
- 7) Walk In Ruhr, Center for Sexual Health and Medicine, Germany
- 8) Interdisciplinary Immunological Outpatient Clinic, Center for Sexual Health and Medicine, Germany
- 9) ViiV Healthcare, USA
- 10) GSK, UK
- 11) Janssen R&D, Belgium
- 12) ViiV Healthcare, UK

**O19-5 Population PK Analysis to Guide Dosing Window Following Lenacavir SC Administration**

Naveed A Shaik<sup>1)</sup>、Francesco Bellanti<sup>2)</sup>、Craig Comisar<sup>2)</sup>、Martin Rhee<sup>1)</sup>、Sandhya Girish<sup>1)</sup>、Ramesh Palaparthi<sup>1)</sup>、Nao Taguchi<sup>3)</sup>、Renu Singh<sup>1)</sup>

- 1) Gilead Sciences, Inc. Foster City, CA, USA
- 2) Certara Inc., Princeton, NJ, USA
- 3) ギリアド・サイエンシズ株式会社

**O19-6** WEEK (W) 52 SUBGROUP EFFICACY OF LENACAPAVIR (LEN) IN HEAVILY TREATMENT-EXPERIENCED (HTE) people with HIV (PWH)

Onyema Ogbuagu<sup>1)</sup>、  
Sorana Segal-Maure<sup>2)</sup>、  
Antonella Castagna<sup>3)</sup>、  
Edwin DeJesus<sup>4)</sup>、  
Anchalee Avihingsanon<sup>5)</sup>、  
Christine Zurawski<sup>6)</sup>、  
Olayemi Osiyemi<sup>7)</sup>、Theo Hodge<sup>8)</sup>、  
Gordon E. Crofoot<sup>9)</sup>、白阪琢磨<sup>10)</sup>、  
Hui Wang<sup>11)</sup>、Hadas Dvory-Sobol<sup>11)</sup>、  
Martin S Rhee<sup>11)</sup>、Jared Baeten<sup>11)</sup>、  
Jean-Michel Molina<sup>12)</sup>

- 1) Yale University School of Medicine, New Haven, CT, US
- 2) New York Presbyterian Queens, Flushing, NY, US
- 3) Vita -Salute University, Milan, Italy
- 4) Orlando Immunology Center, Orlando, FL, US
- 5) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS, Bangkok, Thailand
- 6) Atlanta Infectious Disease Group PC, Atlanta, GA, US
- 7) Triple O Research Institute PA, West Palm Beach, FL, US
- 8) Washington Health Institute, Washington, DC, US
- 9) The Crofoot Research Center, Inc., Houston, TX, US
- 10) 国立病院機構大阪医療センター
- 11) Gilead Sciences Inc., Foster city, SF, US
- 12) University of Paris Cite, Hospital Saint Louis, Lariboisiere, France

■日時：12月4日(月) 8:30~9:18

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## O20 (社・S) 陽性者支援

座長 生島 嗣  
(ぶれいす東京)

三嶋一輝  
(福井大学医学部附属病院)

**O20-1** HIV 陽性者のための就職支援セミナーに関する考察

加藤力也<sup>1)</sup>、大島 岳<sup>1,2)</sup>、牧原信也<sup>1)</sup>、  
生島 嗣<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 明治大学

**O20-2** コロナ時代に求められる新たなピアサポートに向けた取り組み

大島 岳<sup>1,2)</sup>、加藤力也<sup>1)</sup>、牧原信也<sup>1)</sup>、  
生島 嗣<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 2) 明治大学

**O20-3** HIV 陽性者におけるうつ傾向に対するスティグマの認知およびソーシャルサポートの関連性

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>2)</sup>、高久陽介<sup>3)</sup>、  
大島 岳<sup>4)</sup>、阿部桜子<sup>5)</sup>、細川陸也<sup>6)</sup>、  
塩野徳史<sup>7)</sup>、米倉佑貴<sup>8)</sup>、片倉直子<sup>9)</sup>、  
山内麻江<sup>10)</sup>、井上智史<sup>14)</sup>、河合 薫<sup>11)</sup>、  
関由起子<sup>15)</sup>、若林チヒロ<sup>12)</sup>、大木幸子<sup>13)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) (株) アクセライト
- 3) NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) 明治大学
- 5) (株) TIS
- 6) 京都大学
- 7) 大阪青山大学
- 8) 聖路加国際大学
- 9) 神戸市看護大学
- 10) 順天堂大学
- 11) (株) MHレボリューション
- 12) 埼玉県立大学
- 13) 杏林大学
- 14) 九州大学
- 15) 埼玉大学

**O20-4** HIV 陽性者における AIDS 発症に特異的な楽観性

上條槇子<sup>1,2,3)</sup>、谷内 通<sup>2)</sup>、久保かおり<sup>3)</sup>、  
渡邊珠代<sup>3)</sup>

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団
- 2) 金沢大学
- 3) 石川県立中央病院

**O20-5** MSM を対象にした LASH 調査から HIV 陽性者の性行動と人的なネットワークについての考察

生島 嗣<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>1)</sup>、山口正純<sup>2)</sup>、  
大槻知子<sup>1)</sup>、樽井正義<sup>1)</sup>

- 1) ぶれいす東京
- 2) 長寿リハビリセンター病院

**O20-6** コロナ禍における外国人の HIV 陽性者とその周囲の人からの相談内容について

牧原信也、生島 嗣、福原寿弥、  
折茂 淳、村崎美和

特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：12月4日(月) 8:30~9:18  
■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## O21 (臨・C) 症例報告(中枢神経系・悪性腫瘍)

座長 今橋真弓

(名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

上村 悠

(国立国際医療研究センター)

O21-1 亜急性期脳梗塞と診断されて経過観察中、理学療法目的の入院時スクリーニングでHIV陽性となり、発症2ヶ月後に進行性多巣性白質脳症の診断に至った一例  
高嶋英樹<sup>1)</sup>、今井三枝子<sup>2)</sup>、阿部公俊<sup>3)</sup>、中尾安秀<sup>1)</sup>

1) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科  
2) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院感染制御部  
3) 医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

O21-2 免疫再構築症候群により急速な経過で死亡に至ったHIV関連進行性多巣性白質脳症の一部検例

中村信元<sup>1)</sup>、手束宏明<sup>2)</sup>、山上圭<sup>3)</sup>、和泉唯信<sup>3)</sup>、西條早希<sup>4)</sup>、前田悠作<sup>4)</sup>、住谷龍平<sup>4)</sup>、大浦雅博<sup>4)</sup>、曾我部公子<sup>4)</sup>、高橋真美子<sup>4)</sup>、藤井志朗<sup>4)</sup>、原田武志<sup>4)</sup>、三木浩和<sup>5)</sup>

1) 徳島大学大学院医歯薬学実践地域診療・医科学分野  
2) 徳島大学病院卒後臨床研修センター  
3) 徳島大学病院神経内科  
4) 徳島大学病院血液内科  
5) 徳島大学病院輸血・細胞治療部

O21-3 ART導入後に、経時的な画像経過を追えたトキソプラズマ脳炎の1例

阿部静太郎<sup>1)</sup>、小野村樹<sup>2)</sup>、奥村暢将<sup>2)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
2) 国立国際医療研究センター病院国際感染症センター

O21-4 カポジ肉腫の治療中にHHV-8関連多中心性キャッスルマン病の発症が疑われた一例

國吉健太、山城朋子、仲村秀太、知念重希、瀬戸口倫香、西山真央、新垣若子、鍋谷大二郎、山本和子

琉球大学病院感染症・呼吸器・消化器内科学講座

O21-5 ART導入後に化学療法を併用し寛解維持しているHIV関連リンパ増殖性疾患

加藤潤一<sup>1)</sup>、越智俊元<sup>1)</sup>、末盛浩一郎<sup>1)</sup>、乗松真大<sup>2)</sup>、小西達矢<sup>1)</sup>、名部彰悟<sup>1)</sup>、丸田雅樹<sup>1)</sup>、山之内純<sup>1)</sup>、高田清式<sup>3)</sup>、竹中克斗<sup>1)</sup>

1) 愛媛大学大学院血液・免疫・感染症内科学  
2) 愛媛大学医学部附属病院薬剤部  
3) 愛媛大学医学部附属病院地域医療支援センター

O21-6 長期ART内服中にカポジ肉腫を新たに発症した2症例の検討

金子竣<sup>1)</sup>、原田侑子<sup>1)</sup>、宮下竜伊<sup>1)</sup>、山口知子<sup>1)</sup>、上久保淑子<sup>1)</sup>、一木昭人<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、備後真登<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、村松崇<sup>1)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、萩原剛<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>1)</sup>、脇本紘子<sup>2)</sup>、原田和俊<sup>2)</sup>、木内英<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科  
2) 東京医科大学病院皮膚科

■日時：12月4日(月) 9:30~10:10  
■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## O22 (社・S) 政策・医療体制

座長 塩野徳史

(大阪青山大学健康科学部看護学科)

井上洋士

(株式会社アクセライト)

O22-1 エイズ予防指針改正に向けた検討

四本美保子<sup>1)</sup>、大北全俊<sup>2)</sup>、柏崎正雄<sup>3)</sup>、貞升健志<sup>4)</sup>、高久陽介<sup>5)</sup>、日高庸晴<sup>6)</sup>、平賀紀行<sup>7)</sup>、白阪琢磨<sup>8)</sup>

1) 東京医科大学病院臨床検査医学科  
2) 東北大学大学院医学系研究科  
3) 公益財団法人エイズ予防財団  
4) 東京都健康安全研究センター微生物部  
5) NPO法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス  
6) 宝塚大学看護学部  
7) 神戸マリナーズ厚生会病院泌尿器科・麻酔科  
8) 国立病院機構大阪医療センター

O22-2 公的資金によるエイズ対策研究の実施における研究の企画と評価に関する実践的活動の実際と課題

天野景裕<sup>1)</sup>、菊池嘉<sup>2)</sup>、福武勝幸<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学医学部医学科  
2) 国立国際医療研究センター病院

O22-3 HIV 感染症患者の高齢化と医療受診行動に関する調査研究

猪狩英俊、谷口俊文、矢幅美鈴、葛田衣重

千葉大学医学部附属病院感染制御部

O22-4 沖縄県における HIV/AIDS 患者及び診療体制調査～コーディネーターの立場から～

新里尚美<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>3)</sup>、前田サオリ<sup>3)</sup>、大田久美子<sup>4)</sup>、上原 仁<sup>4)</sup>、諸見牧子<sup>4)</sup>、饒平名聖<sup>5)</sup>、石郷岡美穂<sup>6)</sup>、金城隆展<sup>7)</sup>、高江洲壮<sup>2)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、山本和子<sup>2)</sup>

- 1) 琉球大学病院第一内科
- 2) 琉球大学大学院医科学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 3) 琉球大学病院看護部
- 4) 琉球大学病院薬剤部
- 5) 琉球大学病院検査・輸血部
- 6) 琉球大学病院医療福祉センター
- 7) 琉球大学病院地域・国際医療部

O22-5 診療所における HIV 感染症診療の試み—第 16 報

根岸昌功、荒井祐貴子、河野小夜子、西岡春菜

ねざし内科診療所

■日時：12月4日(月) 9:30~10:10

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

O23 (臨・C) アンコール2

座長 塚田訓久

(国立病院機構東埼玉病院臨床研究部)

内藤俊夫

(順天堂大学医学部総合診療科学講座)

O23-1 Week(W)-96 results of ALLIANCE, a Phase 3, randomized, double-blind study comparing B/F/TAF versus DTG+F/TDF in treatment-naive people with both HIV-1 and HBV

Anchalee Avihingsanon<sup>1)</sup>、Hongzhou Lu<sup>2)</sup>、Chee Loon Leong<sup>3)</sup>、Chien-Ching Hung<sup>4)</sup>、Ellen Koenig<sup>5)</sup>、Sasisopin Kiertiburanakul<sup>6)</sup>、Man-Po Lee<sup>7)</sup>、Khuanchai Supparatpinyo<sup>8)</sup>、Fujie Zhang<sup>9)</sup>、Sophia Rahman<sup>10)</sup>、Michelle L. D'Antoni<sup>10)</sup>、Hongyuan Wang<sup>10)</sup>、Jason T. Hindman<sup>10)</sup>、Hal Martin<sup>10)</sup>、Yusuke Hirabuki<sup>11)</sup>、Jared M. Baeten<sup>10)</sup>、Taisheng Li<sup>12)</sup>

- 1) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre and Centre of Excellence in Tuberculosis, Faculty of Medicine, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand
- 2) Shanghai Public Health Clinical Center, Shanghai, China
- 3) Department of Medicine, Kuala Lumpur General Hospital, Kuala Lumpur, Malaysia
- 4) National Taiwan University Hospital Yunlin, Yunlin, Taiwan
- 5) Instituto Dominicano de Estudio Virologicos IDEV, Santo Domingo, Dominican Republic
- 6) Faculty of Medicine Ramathibodi Hospital, Mahidol University, Bangkok, Thailand
- 7) Queen Elizabeth Hospital, Kowloon, Hong Kong
- 8) Chiang Mai University, Chiang Mai, Thailand
- 9) Beijing Ditan Hospital, Capital Medical University, Beijing, China
- 10) Gilead Sciences, Inc
- 11) ギリアド・サイエンシズ株式会社
- 12) Peking Union Medical College Hospital, Beijing, China

**O23-2** Pharmacokinetics (PK), safety, and efficacy of bicitgravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (BIC/F/TAF) in virologically suppressed pregnant women with HIV

Haeyoung Zhang<sup>1)</sup>、Hal Martin<sup>1)</sup>、Ludwig Lin<sup>1)</sup>、Maggie Davis<sup>1)</sup>、Hailin Huang<sup>1)</sup>、Deqing Xiao<sup>1)</sup>、Priyanka Arora<sup>1)</sup>、Anchalee Avihingsanon<sup>2)</sup>、Ellen Koenig<sup>3)</sup>、Ramesh Palaparthy<sup>1)</sup>、Sandhya Girish<sup>1)</sup>、Yasuko Watanabe<sup>4)</sup>、Dhananjay Marathe<sup>1)</sup>

- 1) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
- 2) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre and CE of Tuberculosis, Faculty of Medicine Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand
- 3) Dominican Institute of Virological Studies (IDEV), Santiago, Dominican Republic
- 4) ギリアド・サイエンシズ株式会社

**O23-3** Tenofovir alafenamide (TAF) ベースレジメンから dolutegravir/lamivudine (DTG/3TC) への切り替え試験 (TANGO 試験) 196 週におけるウイルス学的抑制効果サブグループ解析

谷口俊文<sup>1)</sup>、Don E. Smith<sup>2)</sup>、Jean-Pierre Routy<sup>3)</sup>、Stefan Scholten<sup>4)</sup>、Julian Olalla Sierra<sup>5)</sup>、Mounir Ait-Khaled<sup>6)</sup>、Ruolan Wang<sup>7)</sup>、Parminder Saggu<sup>6)</sup>、Riya Moodley<sup>6)</sup>、Bryn Jones<sup>6)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院
- 2) Albion Centre, Australia
- 3) McGill University Health Centre, Canada
- 4) Praxis Hohenstaufenring, Germany
- 5) Hospital Costa del Sol, Spain
- 6) ViiV Healthcare, UK
- 7) ViiV Healthcare, USA
- 8) GSK, UK

**O23-4** リアルワールドにおいて第 III 相試験の組み入れ基準から外れる HIV 感染患者へ dolutegravir 及び lamivudine を投与した臨床報告の systematic literature review

黒崎英志<sup>1)</sup>、Jihad Slim<sup>2)</sup>、Douglas Ward<sup>3)</sup>、Stefan Schneider<sup>4)</sup>、Madhusudan Kabra<sup>5)</sup>、Gustavo Verdier<sup>6)</sup>、Bryn Jones<sup>5)</sup>、Emilio Letang<sup>7)</sup>

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) New York Medical College, USA
- 3) Dupont Circle Physicians Group, USA
- 4) Long Beach Education and Research Consultants, USA
- 5) ViiV Healthcare, UK
- 6) ViiV Healthcare, Canada
- 7) ViiV Healthcare, Spain

**O23-5** ベースライン (BL) 高ウイルス量 (VL) の ART 未治療成人 PLWH における DTG/3TC の高い有効性 : GEMINI-1/-2 試験および STAT 試験 48 週サブグループ解析

小塚孝司<sup>1)</sup>、Charlotte-Paige Rolle<sup>2)</sup>、Jose R. Arribas<sup>3)</sup>、Roberto Ortiz<sup>4)</sup>、Jessica Matthews<sup>5)</sup>、Choy Man<sup>5)</sup>、Richard Grove<sup>6)</sup>、Cynthia Donovan<sup>5)</sup>、Brian Wynne<sup>5)</sup>、Michelle Kisare<sup>7)</sup>、Bryn Jones<sup>7)</sup>

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社
- 2) Orlando Immunology Center, USA
- 3) Hospital Universitario La Paz, Spain
- 4) Bliss Healthcare Services, USA
- 5) ViiV Healthcare, USA
- 6) GSK, UK
- 7) ViiV Healthcare, UK

# 一般演題 (口演)

■日時：12月4日(月) 13:15~13:47

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 024 (社・S) 教育

座長 大野聖子

(京都第一赤十字病院感染制御部)

山中京子

(コラボレーション実践研究所)

O24-1 HIVに関するコメディカル向け研修の意識調査(第1報)—研修の効果と展望について

金井講治<sup>1,2)</sup>、長瀬亜岐<sup>3)</sup>、平川夏帆<sup>4)</sup>、池田 学<sup>2)</sup>

- 1) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学
- 3) おひさまクリニック西宮
- 4) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

O24-2 HIVに関するコメディカル向け研修の意識調査(第2報)—参加者のHIVに対する自覚的な知識やスティグマについて

平川夏帆<sup>1)</sup>、金井講治<sup>2,3)</sup>、長瀬亜岐<sup>4)</sup>、池田 学<sup>2)</sup>

- 1) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント
- 2) 大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室
- 3) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター
- 4) おひさまクリニック西宮

O24-3 HIV医学教育プログラムの開発と評価

渡部健二<sup>1)</sup>、河盛 段<sup>1)</sup>、高橋 剛<sup>1)</sup>、佐田遼太<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

- 1) 大阪大学医学部医学科教育センター
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科

O24-4 iPhone用アプリを用いた性感染症予防の試み

福島真一、鈴木麻衣、森 博威、内藤俊夫

順天堂大学医学部総合診療科学講座

■日時：12月4日(月) 13:15~14:03

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## 025 (基・B) 薬剤耐性(基礎)/分子疫学

座長 菊地 正

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

大出裕高

(国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

O25-1 国内HIV-1伝播クラスタ動向(SPHNCS分析)年報—2022年

椎野禎一郎<sup>1,2)</sup>、大谷眞智子<sup>2)</sup>、中村麻子<sup>3)</sup>、南 留美<sup>4)</sup>、今橋真弓<sup>5)</sup>、吉村和久<sup>6)</sup>、杉浦 互<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター・臨床研究センター
- 2) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 3) 福岡県保健環境研究所・保健科学部ウイルス課
- 4) 国立病院機構九州医療センター
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター
- 6) 東京都健康安全研究センター

O25-2 ナノポアシーケンスを利用した宿主内HIV-1のゲノム配列多様性解析

大出裕高<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、山村喜美<sup>1)</sup>、森美喜子<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部
- 2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

O25-3 ISOLATION OF RESISTANT MUTANTS AGAINST LENACAPAVIR USING THE CAPSID LIBRARY SYSTEM

ANDREWS WRIGHT OFOTSU AMESIMEKU, JOYCE APPIAH-KUBI, PERPETUAL NYAME, JAKIR HOSSAIN, NAMI MONDE, HIROMI TERASAWA, TOMOHIRO SAWA, YOSUKE MAEDA, KAZUAKI MONDE

DEPARTMENT OF MICROBIOLOGY, GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES, KUMAMOTO UNIVERSITY.

O25-4 ナノポアシーケンスによる HIV-1 RNA ゲノムの近全長配列解析と薬剤耐性遺伝子検査への応用

松田昌和<sup>1)</sup>、大出裕高<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、山村喜美<sup>1)</sup>、森美喜子<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部  
2) 名古屋大学大学院医学系研究科免疫不全統御学講座

O25-5 新規組換え体 HIV-1 である CRF139\_02 B の発見とその分子疫学的解析

林田庸総、土屋亮人、岡 慎一、瀧永博之

国立国際医療研究センター

O25-6 東海地域において検出された Unique recombinant forms (URFs) 症例の分子疫学的解析と考察

重見 麗<sup>1)</sup>、山村喜美<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、大出裕高<sup>1)</sup>、森美喜子<sup>1)</sup>、笠原高翔<sup>1)</sup>、今橋真弓<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>

1) (独) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター  
2) 名古屋大学大学院医学系研究科

■日時：12月4日(月) 13:15~14:03

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## O26 (臨・C) 抗 HIV 療法 5

座長 白川康太郎

(京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学)

合原嘉寿

(国立病院機構九州医療センター薬剤部)

O26-1 抗 HIV 持効性注射剤導入における薬剤師の取り組み

青嶋瑞樹<sup>1)</sup>、久保田早苗<sup>1)</sup>、鈴木麻衣<sup>2)</sup>、馬場喜弓<sup>1)</sup>、木村利美<sup>1)</sup>、内藤俊夫<sup>2)</sup>

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部  
2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

O26-2 抗レトロウイルス療法の経口薬から長時間作用型注射剤への変更例の検討

小西啓司<sup>1,3)</sup>、笠松 悠<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>1)</sup>、森田優香<sup>2)</sup>、大久保萌香<sup>2)</sup>、小野塚大介<sup>3)</sup>、忽那賢志<sup>3)</sup>

1) 大阪市立総合医療センター感染症内科  
2) 大阪市立総合医療センター薬剤部  
3) 大阪大学医学部附属病院感染制御部

O26-3 当院における抗 HIV 薬を内服薬から持効性注射剤に変更した患者の反応について

上山美香、中澤光子、中川沙織、織田ひとみ、千葉陽子、中村智子、結城佳代子、砂田純子、安齋英里、大谷天人、齋藤 真、古賀道子、安達英輔、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院

O26-4 HIV 治療薬の長時間作用型注射薬を導入した患者の思い

杉山仁美<sup>1)</sup>、田中利江子<sup>1)</sup>、臼井依都子<sup>1)</sup>、石原正志<sup>2)</sup>、鶴見 寿<sup>3,4)</sup>、手塚宜行<sup>5)</sup>、生駒良和<sup>3)</sup>

1) 岐阜大学医学部附属病院看護部  
2) 岐阜大学医学部附属病院薬剤部  
3) 岐阜大学医学部附属病院血液内科  
4) 松波総合病院血液内科  
5) 岐阜大学医学部附属病院感染症寄附講座

O26-5 持効性注射剤治療導入に向けた取り組み—注射剤治療運用マニュアルとフローチャートの作成—

久保田早苗<sup>1)</sup>、鈴木麻衣<sup>2)</sup>、青嶋瑞樹<sup>1)</sup>、金澤晶雄<sup>2)</sup>、青木のぞみ<sup>2)</sup>、馬場喜弓<sup>1)</sup>、福井由希子<sup>2)</sup>、内藤俊夫<sup>2)</sup>

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部  
2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

O26-6 経口内服から持効性注射剤カボテグラビル+リルピビルンに ART を変更した患者の心理的变化

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、仲村秀太<sup>2)</sup>、石郷岡美穂<sup>3)</sup>、上原 仁<sup>4)</sup>、大田久美子<sup>4)</sup>、辺士名優美子<sup>5)</sup>、饒平名聖<sup>6)</sup>

1) 琉球大学病院看護部  
2) 琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科  
3) 琉球大学病院医療福祉センター  
4) 琉球大学病院薬剤部  
5) 沖縄県公認心理師協会 HIV 派遣カウンセラー  
6) 琉球大学病院検査部

■日時：12月4日(月) 14:10~14:42

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 027 (社・S) カウンセリング1

座長 喜花伸子

(広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室)

安尾利彦

(国立病院機構大阪医療センター臨床心理室)

### O27-1 HIV 領域の心理職と精神科医の連携の現状と課題に関する研究

安尾利彦<sup>1,2)</sup>、木村宏之<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
- 2) 国立病院機構大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター
- 3) 名古屋大学大学院医学系研究科精神医学分野

### O27-2 HIV 感染症患者の長期療養における心理社会的課題とその支援に関する後方視的調査

渡邊未来<sup>1)</sup>、葛田衣重<sup>1)</sup>、新津富央<sup>2)</sup>、猪狩英俊<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科
- 2) 千葉大学大学院医学研究院精神医学

### O27-3 マイノリティストレスが HIV 陽性者の治療意欲に及ぼす影響—カウンセラーの視点から—

飯田昌子<sup>1)</sup>、長浦由紀<sup>2)</sup>、関口 愛<sup>3)</sup>、曾我真千恵<sup>4)</sup>

- 1) 鹿児島大学法文教育学域法文学系
- 2) 長崎大学生命医科学域
- 3) 大分大学医学部臨床薬理講座
- 4) 国立病院機構九州医療センターHIV/AIDS治療センター

### O27-4 高齢 HIV 感染症患者の長期療養体制における臨床心理的支援に関する調査研究—第一報—

渡邊未来<sup>1)</sup>、葛田衣重<sup>1)</sup>、田代 萌<sup>1)</sup>、伊藤菜穂子<sup>1)</sup>、新津富央<sup>2)</sup>、猪狩英俊<sup>1)</sup>

- 1) 千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科
- 2) 千葉大学大学院医学研究院精神医学

■日時：12月4日(月) 14:10~14:42

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## 028 (基・B) 新薬開発/宿主因子/その他

座長 宮内浩典

(国立感染症研究所)

藤田美歌子

(熊本大学大学院生命科学研究部サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座)

### O28-1 抗ウイルス宿主因子 APOBEC3G 分解抑制化合物の探索

新垣唯一<sup>1)</sup>、加茂真宏<sup>1)</sup>、伊藤見宇<sup>1)</sup>、ラドワンモハメドオスマン<sup>1)</sup>、大塚雅巳<sup>1,2)</sup>、立石 大<sup>1)</sup>、高折晃史<sup>3)</sup>、藤田美歌子<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
- 2) サイエンスファーム株式会社
- 3) 京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

### O28-2 A derivative compound, HT-7 inhibits HIV-1 release by inducing BST2/tetherin on the cell surface

PERPETUAL NYAME<sup>1)</sup>、Akihiro Togami<sup>2)</sup>、Tomofumi Yoshida<sup>1)</sup>、Takuya Masunaga<sup>2)</sup>、Hiromi Terasawa<sup>1)</sup>、Nami Monde<sup>1)</sup>、Yurika Tahara<sup>2)</sup>、Tomohiro Sawa<sup>1)</sup>、Yorifumi Satou<sup>3)</sup>、Mikako Fujita<sup>2)</sup>、Yosuke Maeda<sup>1)</sup>、Hiroshi Tateishi<sup>2)</sup>、Kazuaki Monde<sup>1)</sup>

- 1) DEPARTMENT OF MICROBIOLOGY, GRADUATE SCHOOL OF MEDICAL SCIENCES, KUMAMOTO UNIVERSITY
- 2) Medical and Biological Chemistry Science Farm Joint Research Laboratory, Faculty of Life Sciences, Kumamoto University
- 3) Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Kumamoto University

### O28-3 1,3,4-oxadiazole 環を有する Raltegravir は強酸性下で加水分解され、抗 HIV 活性が低下する

中村朋文<sup>1,2)</sup>、奥村真由<sup>1)</sup>、高宗暢暁<sup>3)</sup>、弘津辰徳<sup>4)</sup>、杉浦正晴<sup>5)</sup>、安永純一郎<sup>1)</sup>、中田浩智<sup>1)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液・膠原病・感染症内科
- 2) 熊本大学病院中央検査部
- 3) 熊本大学熊本創世推進機構
- 4) 株式会社サイディン
- 5) 崇城大学薬学部薬学科



## O28-4 インテグラーゼ阻害薬とミネラルウォーターとの相互作用に関する研究

安岡紀登<sup>1)</sup>、古屋貴人<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、西村富啓<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

## O29-4 アルコール性肝炎に伴う大球性貧血・皮膚粘膜障害の治療中に著明なウイルス量増加を認め薬物相互作用が疑われた一例 清水真澄<sup>1)</sup>、松井昂介<sup>2)</sup>、有吉紅也<sup>1,3)</sup>

1) 長崎大学病院感染症内科  
2) 福岡徳洲会病院救急科  
3) 長崎大学熱帯医学研究所臨床感染症学分野

■日時：12月4日(月) 14:10~14:58

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

### O29 (臨・C) 抗HIV療法6

座長 矢倉裕輝

(国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部)

今村淳治

(国立病院機構仙台医療センター感染症内科)

## O29-5 BIC/TAF/FTC服用中の非糖尿病HIV患者が減量目的で服用したメトホルミンにより乳酸アシドーシスを来しメトホルミンの血中濃度が高値を示した一例

大谷真理子<sup>1,2)</sup>、横尾卓也<sup>1,2)</sup>、佐藤高広<sup>2,3)</sup>、前田正<sup>2,3)</sup>、平山忍<sup>1,2)</sup>、草野歩<sup>1)</sup>、坂本真紀<sup>1,2)</sup>、宮崎泰斗<sup>2,3)</sup>、吉澤定子<sup>4,5)</sup>、館田一博<sup>2,4,5)</sup>、松本高広<sup>1)</sup>

1) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部  
2) 東邦大学医療センター大森病院感染管理部  
3) 東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター  
4) 東邦大学医療センター大森病院臨床検査部  
5) 東邦大学医学部微生物・感染症学講座

## O29-1 非結核菌抗酸菌症を発症したHIV感染症患者にドルテグラビル/ラミブジンとリファブチンを併用し、血中濃度測定を活用して治療を継続した1例

野村直幸<sup>1,2)</sup>、河野泰宏<sup>1,2)</sup>、安岡悠典<sup>1,2)</sup>、野田綾香<sup>1,2)</sup>、高田遼<sup>1)</sup>、中村葵<sup>2)</sup>、藤原千尋<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>2)</sup>、木梨貴博<sup>2)</sup>、片山智之<sup>2)</sup>、門田悦子<sup>2)</sup>、宮内浩希<sup>2)</sup>、高橋洋子<sup>1)</sup>、田村浩二<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>2,3)</sup>、坂田達朗<sup>2,4)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部  
2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター  
3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科  
4) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター肝臓内科

## O29-6 食道胃接合部癌術後に食道狭窄を繰り返す症例に対して持効性注射薬カボテグラビル+リルピピリン(CAB+RPV)を導入した一例

田澤佑基<sup>1,2)</sup>、遠藤知之<sup>2,3)</sup>、武隈洋<sup>1)</sup>、菅原満<sup>1,4)</sup>

1) 北海道大学病院薬剤部  
2) 北海道大学病院HIV診療支援センター  
3) 北海道大学病院血液内科  
4) 北海道大学大学院薬学研究院

## O29-2 組織球性壊死性リンパ節炎に一致する病理所見を呈したアバカビル過敏症の一例

富永晃輝<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、滝澤あゆみ<sup>2)</sup>、鄭瑞雄<sup>1)</sup>、田中勝<sup>1)</sup>、味澤篤<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院総合診療科

## O29-3 持続経管栄養投与によりビクテグラビルの吸収障害が起きた一例

古屋貴人<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、安藤尚克<sup>2)</sup>、小泉吉輝<sup>2)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、西村富啓<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部  
2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

■日時：12月4日(月) 15:10~15:42

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

### O30 (社・S) カウンセリング2

座長 山中京子

(コラボレーション実践研究所)

宮本哲雄

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床心理室)

## O30-1 HIV陽性者の受診行動とその心理的背景に関する研究

神野未佳<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1,2)</sup>、西川歩美<sup>2)</sup>、森田真子<sup>2)</sup>、富田朋子<sup>2)</sup>、宮本哲雄<sup>2)</sup>、水木薫<sup>2)</sup>、牧寛子<sup>2)</sup>、渡邊大<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター  
2) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室

**O30-2 HIV 陽性者の精神科受診およびカウンセリング利用に関する研究**

西川歩美<sup>1)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、神野未佳<sup>1)</sup>、  
森田眞子<sup>1)</sup>、富田朋子<sup>1)</sup>、宮本哲雄<sup>1)</sup>、  
水木 薫<sup>1)</sup>、牧 寛<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 大阪医療センター臨床心理室  
2) 大阪医療センターHIV/AIDS先端医療開発センター

**O30-3 看護師の同席がカウンセリングの導入に与える影響—心理士交代後の初回面談に着目して—**

猪俣萌子<sup>1)</sup>、中川雄真<sup>2)</sup>、須佐佳苗<sup>1)</sup>、  
柴田 怜<sup>1)</sup>、茂呂 寛<sup>1)</sup>

1) 新潟大学医歯学総合病院感染管理部  
2) 常葉大学教育学部心理教育学科

**O30-4 当院における新規通院 HIV 感染者の心理アセスメントに関する実態調査**

大友 健<sup>1)</sup>、木村聡太<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>2)</sup>、  
加藤 温<sup>3)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター  
2) 和光大学現代人間学部  
3) 国際医療研究センター病院精神科

**O31-3 エイズ文化フォーラム「ウイルス母子感染！～正しく知って正しく防ごう～」におけるアンケート解析**

鈴木ひとみ<sup>1,2)</sup>、高野政志<sup>2,3)</sup>、  
羽柴知恵子<sup>2)</sup>、渡邊英恵<sup>2)</sup>、出口雅士<sup>2)</sup>、  
長與由紀子<sup>2)</sup>、廣瀬紀子<sup>2)</sup>、榎本美喜子<sup>2,4)</sup>、  
藤田 綾<sup>2,4)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、  
杉浦 敦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>2)</sup>、  
山田里佳<sup>2)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、林 公一<sup>2)</sup>、  
外川正生<sup>2)</sup>、佐久本薫<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2,4)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究」班  
3) 防衛医科大学校病院産科婦人科  
4) 奈良県総合医療センター

**O31-4 「英語圏以外の外国人 HIV 患者が診療を受ける上で、日本語が不自由なことにより抱える困難感」～医療通訳介入に向けて～**

宮越郁子、稗田広美、杉山ひかる

北海道公立大学法人札幌医科大学附属病院

■日時：12月4日（月） 15：10～15：58

■会場：第6会場（2F サロンドシャルム）

**O31（臨・C）歯科・外国人・その他**

座長 有家 巧

（国立病院機構大阪医療センター口腔外科）

白野倫徳

（大阪市立総合医療センター感染症内科）

**O31-1 歯科医院において HIV 陽性者診療時に発生した経皮的曝露に関する考察**

宇佐美雄司<sup>1)</sup>、小田知生<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>

1) 名古屋医療センター歯科口腔外科  
2) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター

**O31-2 HIV の歯科診療しながら、地域で LGBT の方と共に取り組みをしています**

渡邊充春<sup>1,2)</sup>

1) わたなべ往診歯科  
2) 歯科保健研究会

**O31-5 JICA 草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市における HIV/AIDS 患者の歯科診療体制構築事業について（第三報）**

鈴木信治<sup>1)</sup>、池田正一<sup>2)</sup>、池野 良<sup>1)</sup>、  
柿沼章子<sup>3)</sup>、泉福英信<sup>4)</sup>、中川裕美子<sup>5,6)</sup>、  
中澤よう子<sup>7,8)</sup>、吉村幸浩<sup>9)</sup>

1) 神奈川県歯科医師会  
2) 神奈川県歯科大学  
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団  
4) 日本大学松戸歯学部  
5) 大手前短期大学歯科衛生学科  
6) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター  
7) 神奈川県予防医学協会  
8) ぶれいす東京  
9) 横浜市立市民病院

**O31-6 治療中に来日した技能実習生に対する ART 継続方法**

土谷良樹

東京勤労者医療会東葛病院総合診療科

# 一般演題 (口演)

■日時：12月4日(月) 15:10~15:58

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## 032 (臨・C) 抗 HIV 療法 7

座長 関根祐介

(東京医科大学病院薬剤部)

迫田直樹

(法円坂メディカル株式会社法円坂薬局)

032-6 保険薬局におけるオンライン服薬指導の活用

迫田直樹<sup>1)</sup>、宮本愛梨沙<sup>2)</sup>、尾形奈美<sup>3)</sup>、  
中村美紀<sup>3)</sup>、堅田陽介<sup>4)</sup>

1) 法円坂メディカル株式会社法円坂薬局

2) 都島センター薬局

3) きらめき薬局

4) 法円坂メディカル株式会社

032-1 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査—治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査(2023年)

澤田暁宏<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>2)</sup>、増田純一<sup>3)</sup>、  
小島賢一<sup>4)</sup>

1) 兵庫医科大学呼吸器・血液内科

2) 東京医科大学病院薬剤部

3) 国立国際医療研究センター病院薬剤部

4) 荻窪病院血液凝固科

032-2 処方日数から推定される抗 HIV 薬アドヒアランスと残薬数の検討

池内和彦<sup>1)</sup>、大谷天人<sup>1)</sup>、齋藤 真<sup>1)</sup>、  
古賀道子<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>1)</sup>、横田 舞<sup>2)</sup>、  
峰岸園恵<sup>2)</sup>、黒田誠一郎<sup>2)</sup>、堤 武也<sup>1)</sup>、  
四柳 宏<sup>1)</sup>

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染症内科

2) 東京大学医科学研究所附属病院薬剤部

032-3 抗 HIV 薬服用患者における保険薬局との関わり

安田明子<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>

1) 石川県立中央病院薬剤部

2) 石川県立中央病院免疫感染症科

032-4 抗 HIV 薬処方に対する病院-保険薬局薬剤師の連携体制に関する横断研究

築地茉莉子<sup>1)</sup>、鈴木貴明<sup>1)</sup>、菅谷修平<sup>1)</sup>、  
猪狩英俊<sup>2)</sup>、石井伊都子<sup>1)</sup>

1) 千葉大学医学部附属病院薬剤部

2) 千葉大学医学部附属病院感染症内科

032-5 薬薬連携から抗 HIV 薬との薬物相互作用に介入した3症例

野田綾香<sup>1,2)</sup>、野村直幸<sup>1,2)</sup>、河野泰宏<sup>1,2)</sup>、  
安岡悠典<sup>1,2)</sup>、高田 遼<sup>1)</sup>、高橋洋子<sup>1)</sup>、  
田村浩二<sup>1)</sup>、中村 葵<sup>2)</sup>、片山智之<sup>2)</sup>、  
宮内浩希<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>2)</sup>、木梨貴博<sup>2)</sup>、  
藤原千尋<sup>2)</sup>、門田悦子<sup>2)</sup>、齋藤誠司<sup>2)</sup>、  
坂田達朗<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部

2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター

■日時：12月4日(月) 16:10~16:58

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 033 (社・S) 検査・相談体制

座長 本間隆之

(山梨県立大学看護学部)

佐野貴子

(神奈川県衛生研究所微生物部)

033-1 東京都内公的検査機関での HIV 検査における HIV-1 陽性例を用いた分子生物学的解析

河上麻美代<sup>1)</sup>、北村有里恵<sup>1)</sup>、伊藤 仁<sup>1)</sup>、  
黒木絢士郎<sup>1)</sup>、小泉美優<sup>1)</sup>、藤原卓士<sup>1)</sup>、  
椎野禎一郎<sup>2)</sup>、菊地 正<sup>3)</sup>、長島真美<sup>1)</sup>、  
貞升健志<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>1)</sup>

1) 東京都健康安全研究センター

2) 国立国際医療研究センター臨床研究センター

3) 国立感染症研究所エイズ研究センター

033-2 HIV 郵送検査に関する実態調査(2022)

須藤弘二<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、  
今井光信<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>4)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>

1) 株式会社ハナ・メディテック

2) 神奈川県衛生研究所微生物部

3) 田園調布学園大学

4) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

033-3 民間臨床検査センターにおける HIV 検査等の実施状況および確認 IC 法検査試薬導入に関する調査

佐野貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、  
櫻木淳一<sup>1)</sup>、今井光信<sup>3)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>、  
今村顕史<sup>4)</sup>

1) 神奈川県衛生研究所微生物部

2) 株式会社ハナ・メディテック

3) 田園調布学園大学

4) 東京都立駒込病院感染症科

**O33-4 MSMにおけるHIV検査の選好に関する  
コンジョイント分析を用いた検討**

本間隆之<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、今村顕史<sup>3)</sup>

- 1) 山梨県立大学看護学部
- 2) NPO法人akta
- 3) 東京都立駒込病院

**O33-5 検査会社からの紹介で治療を開始した1  
例**

坂部茂俊<sup>1)</sup>、田中宏幸<sup>1)</sup>、中西雄紀<sup>1)</sup>、  
豊嶋弘一<sup>1)</sup>、藤井典善<sup>2)</sup>、服部公紀<sup>3)</sup>、  
森尾志保<sup>4)</sup>

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 伊勢赤十字病院医療社会事業部
- 3) 伊勢赤十字病院薬剤部
- 4) 伊勢赤十字病院看護部

**O33-6 クリニックにおけるMSM向けHIV・性  
感染症検査キャンペーン（2022年度実  
績報告）**

阪野文哉<sup>1)</sup>、川畑拓也<sup>1)</sup>、浜みなみ<sup>1)</sup>、  
渡邊大<sup>2)</sup>、塩野徳史<sup>3)</sup>、西田明子<sup>4)</sup>、  
朝来駿一<sup>5)</sup>、青木理恵子<sup>6)</sup>、澤田暁宏<sup>7)</sup>、  
西岡弘晶<sup>8)</sup>、荒川創一<sup>9)</sup>、大森亮介<sup>10)</sup>、  
駒野淳<sup>11)</sup>、森治代<sup>1)</sup>、本村和嗣<sup>1)</sup>

- 1) (地独)大阪健康安全基盤研究所
- 2) 国立病院機構大阪医療センター
- 3) MASH大阪/大阪青山大学
- 4) 大阪府健康医療部保健医療室感染症対策課
- 5) ふれんどりーKOBE
- 6) 特定非営利活動法人CHARM
- 7) 兵庫医科大学
- 8) 神戸市立医療センター中央市民病院
- 9) 三田市民病院
- 10) 北海道大学
- 11) 大阪医科薬科大学

■日時：12月4日（月） 16：10～16：58

■会場：第6会場（2F サロンドシャルム）

**O34（臨・C）薬害・患者支援**

座長 藤井輝久

（広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室）

羽柴知恵子

（名古屋医療センター）

**O34-1 HIV感染血友病患者に対するメタボリック  
クシンドロームの判定評価と運動・食習  
慣に関する支援の一考察**

佐藤愛美<sup>1,2)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、  
野崎宏枝<sup>1)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、  
谷口紅<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、木村聡太<sup>1)</sup>、  
池田和子<sup>1)</sup>、上村悠<sup>1)</sup>、中本貴人<sup>1)</sup>、  
渡辺恒二<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団リサーチ・レジデント

**O34-2 薬害被害者が悪性腫瘍に罹患した際の心  
理的支援についてのアンケート調査**

福田あかり<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>1,2)</sup>、田中貴大<sup>2)</sup>、  
石坂彩<sup>1)</sup>、保坂隆<sup>2,3)</sup>、四柳宏<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 3) 保坂サイコオンコロジー・クリニック

**O34-3 首都圏におけるHIV診療拠点病院のサス  
テナブル(持続可能)なHIV看護の検討～  
HIV感染症看護師相互交流シンポジウム  
2022—首都圏編—アンケート調査よ  
り～**

松山奈央<sup>1)</sup>、戸蒔祐子<sup>2)</sup>、岡村美里<sup>3)</sup>、  
関矢早苗<sup>4)</sup>、小林あずさ<sup>4)</sup>、古谷佳苗<sup>5)</sup>、  
山口睦美<sup>6)</sup>、堤徳正<sup>7)</sup>、杉野祐子<sup>8)</sup>、  
池田和子<sup>8)</sup>、横幕能行<sup>9)</sup>

- 1) 横浜市立大学附属病院
- 2) 慶応義塾大学病院
- 3) 東京慈恵会医科大学附属病院
- 4) がん・感染症センター都立駒込病院
- 5) 千葉大学医学部附属病院
- 6) NHO東埼玉病院
- 7) 筑波大学附属病院
- 8) 国立国際医療研究センター病院
- 9) NHO名古屋医療センター

**O34-4 軽度発達障害があるHIV陽性患者への就  
労支援**

石井智美、車陽子、渡邊珠代

石川県立中央病院

# 一般演題 (口演)

O34-5 HIV 感染者の療養支援—患者情報収集シートを使用して看護面談・カンファレンス実施を試みて—

南村 茜、岡本由佳里、七條明代、中村明世、堀 令子

奈良県立医科大学附属病院看護部

O34-6 HIV 感染者における脂質異常の改善に向けた食事・身体活動介入プログラムに関する文献検討

青盛真紀<sup>1,2)</sup>、松本智晴<sup>3)</sup>、前田ひとみ<sup>3)</sup>

1) 前) 熊本大学大学院保健学教育部博士後期課程看護学専攻

2) 横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻感染看護学分野

3) 熊本大学大学院生命科学研究部環境社会医学部門看護学講座

■日時：12月4日(月) 16:10~16:58

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## O35 (臨・C) 抗 HIV 療法 8

座長 高濱宗一郎

(国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科)

小西啓司

(大阪大学医学部附属病院感染制御部/感染症内科)

O35-4 抗レトロウイルス療法の年次推移と2剤治療導入に関する調査

横尾卓也<sup>1)</sup>、花井雄貴<sup>2)</sup>、松尾和廣<sup>2)</sup>、植草秀介<sup>2)</sup>、平山 忍<sup>1)</sup>、大谷真理子<sup>1)</sup>、河原理紗<sup>1)</sup>、草野 歩<sup>1)</sup>、坂本真紀<sup>1)</sup>、松本高広<sup>1)</sup>

1) 東邦大学医療センター大森病院薬剤部

2) 東邦大学薬学部臨床薬学研究室

O35-5 当院におけるドルテグラビル・ラミブジン (DTG/3TC) の使用状況について

池谷健一<sup>1)</sup>、関根祐介<sup>1)</sup>、古屋裕理<sup>1)</sup>、竹内裕紀<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>2)</sup>、四本美保子<sup>2)</sup>、萩原 剛<sup>2)</sup>、村松 崇<sup>2)</sup>、備後真登<sup>2)</sup>、近澤悠志<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>2)</sup>、中村 造<sup>3)</sup>、渡邊秀裕<sup>3)</sup>、木内 英<sup>2)</sup>

1) 東京医科大学病院薬剤部

2) 東京医科大学病院臨床検査医学科

3) 東京医科大学病院感染症科

O35-6 既存抗 HIV 薬からカボテグラビル/リルピピリン併用療法に変更後の腎機能マーカーの変化について

大谷天人、安達英輔、齋藤 真、古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

■日時：12月5日(火) 9:00~9:32

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## O36 (社・S) 薬害 1

座長 若生治友

(特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権)

大北全俊

(東北大学大学院医学系研究科)

O35-1 2剤療法施行中の HIV 陽性者における Blip および TND (Target Not Detected) 維持率の検討

遠藤知之<sup>1,2)</sup>、後藤秀樹<sup>1,2)</sup>、松川敏大<sup>1,2)</sup>、荒 隆英<sup>1,2)</sup>、長谷川祐太<sup>1,2)</sup>、須藤啓斗<sup>1,3)</sup>、宮島 徹<sup>1,3)</sup>、長井 惇<sup>1,3)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1,2)</sup>

1) 北海道大学病院血液内科

2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター

3) エイズ予防財団

O35-2 HIV 未治療患者におけるドルテグラビル/ラミブジン導入の2年の経過

遠藤愛樹、石部大紀、金 永進、松本香織、小林義文

山梨県立中央病院薬剤部

O35-3 当院における DTG+3TC (DTG/3TC) へ切り替え後の有効性および安全性についての検討

新井 優<sup>1)</sup>、金子真依<sup>1)</sup>、小林美穂<sup>1)</sup>、林田沙綾<sup>1)</sup>、長澤苑子<sup>1)</sup>、眞壁秀樹<sup>1)</sup>、戸叶美枝子<sup>2)</sup>、今井一男<sup>2)</sup>、樽本憲人<sup>2)</sup>

1) 埼玉医科大学病院薬剤部

2) 埼玉医科大学病院感染症科・感染制御科

O36-1 血液製剤による HIV 感染者の調査成績第2報 日常生活の影響と主観的健康の検討

川戸美由紀<sup>1)</sup>、三重野牧子<sup>2)</sup>、橋本修二<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>3)</sup>、大金美和<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、岡本 学<sup>5)</sup>、湯永博之<sup>4)</sup>、日笠 聡<sup>6)</sup>、八橋 弘<sup>7)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

1) 藤田医科大学

2) 自治医科大学

3) 東京医科大学

4) 国立国際医療研究センター

5) 国立病院機構大阪医療センター

6) 兵庫医科大学病院

7) 国立病院機構長崎医療センター

**O36-2** 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言(第 14 報)～地方在住患者に対する対面形式の個別支援の有効性に関する事例報告

岩野友里、柿沼章子、久地井寿哉、  
武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

**O36-3** 遺族健診受診支援事業からみる遺族健診受検者の現状と課題

木村聡太、野崎宏枝、鈴木ひとみ、  
大金美和、上村 悠、田沼順子、  
大友 健、照屋勝治、瀧永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究センター

**O36-4** HIV/AIDS のスティグマによるコミュニケーションの困難を乗り越える一薬害 HIV 感染被害者である早坂典生氏の生活史から一

早坂典生<sup>1)</sup>、入江恵子<sup>2)</sup>、橋本 謙<sup>3)</sup>、  
種田博之<sup>4)</sup>、小川良子<sup>5)</sup>、宮本哲雄<sup>6)</sup>、  
山田富秋<sup>7)</sup>

1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず  
2) 北九州市立大学  
3) 岐阜県スクールカウンセラー  
4) 産業医科大学  
5) 本永病院  
6) 国立病院機構大阪医療センター  
7) 松山大学

■日時：12月5日(火) 9:00~9:48

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

**O37 (基・B) 病原性・病態/免疫・ワクチン/  
動物モデル**

座長 近田貴敬

(熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター)

久世 望

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

**O37-1** HIV 感染者に対する SARS-CoV-2 ワクチンの追加接種後の長期的な液性免疫及び細胞性免疫応答の検討

松本佑慈、村田昌之、下野信行

九州大学病院総合診療科

**O37-2** 長期多剤併用療法が HIV-1 特異的 CD8 陽性 T 細胞の誘導と維持に及ぼすエピソード依存的効果

久世 望<sup>1,2)</sup>、瀧永博之<sup>3)</sup>、Zhang Yu<sup>2)</sup>、  
近田貴敬<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>、滝口雅文<sup>2)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター  
3) 国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

**O37-3** HIV 感染者における腸内細菌叢の時間変化と体重増加の関係

石坂 彩<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>1)</sup>、水谷壮利<sup>2)</sup>、  
四柳 宏<sup>1,3)</sup>

1) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野  
2) 東京大学大学院新領域創成科学研究科  
3) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

**O37-4** 早期抗 HIV-1 中和抗体治療を受けた SHIV 感染アカゲザルにおける長期ウイルス抑制下での血中リザーバー細胞の長期的推移および細胞性免疫誘導機序の解析

西村佳哲、Olivia Donau、  
Eric Jesteadt、Malcolm Martin

Laboratory of Molecular Microbiology, National Institute of Allergy and Infectious Diseases, National Institutes of Health

**O37-5** サル免疫系細胞を持つマウスの SIV 感染病態の検討

佐藤瑠奈<sup>1)</sup>、西本佳那子<sup>1)</sup>、阪脇廣美<sup>2)</sup>、  
三浦智行<sup>2)</sup>、伊吹謙太郎<sup>1)</sup>

1) 京都大学医学研究科人間健康科学系専攻  
2) 京都大学医生物学研究所

**O37-6** サルに適応した CCR5 指向性コンセンサスクローン SHIV-MK38C の CD4 mimic に対する感受性

松浦嘉奈子<sup>1)</sup>、山浦瑞樹<sup>1)</sup>、阪脇廣美<sup>1)</sup>、  
姫野 愛<sup>1)</sup>、Yalcin Pisil<sup>1)</sup>、小早川拓也<sup>2)</sup>、  
辻 耕平<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>2)</sup>、松下修三<sup>3)</sup>、  
三浦智行<sup>1)</sup>

1) 京都大学医生物学研究所  
2) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所  
3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：12月5日(火) 9:00~9:48

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## 038 (臨・C) 抗HIV療法9

座長 山崎尚也

(広島大学病院輸血部)

松村拓朗

(国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

### O38-1 Week 48 Asian Analysis Results of a Phase 3 Randomized Controlled Trial of B/F/TAF vs DTG+F/TDF in ART-Naive, HIV/HBV-Coinfected Adults (ALLIANCE)

Anchalee Avihingsanon<sup>1)</sup>、  
Hongzhou Lu<sup>2)</sup>、Chee Loon Leong<sup>3)</sup>、  
Chien-Ching Hung<sup>4)</sup>、  
Sasisopin Kiertiburanakul<sup>5)</sup>、  
Man-Po Lee<sup>6)</sup>、  
Khuanchai Supparatpinyo<sup>7)</sup>、  
Fujie Zhang<sup>8)</sup>、Jason Hindman<sup>9)</sup>、  
Hongyuan Wang<sup>9)</sup>、Megan Kim<sup>10)</sup>、  
Tin Hung Wong<sup>11)</sup>、Taisheng Li<sup>12)</sup>

- 1) HIV-NAT, Thai Red Cross AIDS Research Centre
- 2) Shanghai Public Health Clinical Center
- 3) Department of Medicine, Kuala Lumpur General Hospital
- 4) National Taiwan University Hospital
- 5) Ramathibodi Hospital
- 6) Queen Elizabeth Hospital
- 7) Chiang Mai University
- 8) Treatment of China AIDS
- 9) GSI
- 10) Gilead Sciences Korea Limited
- 11) Gilead Sciences Hong Kong Limited
- 12) Peking Union Medical College Hospital

### O38-2 ビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド配合錠処方患者における服薬アドヒアランスが臨床アウトカムに与える影響：レセプトデータ解析

内藤俊夫<sup>1)</sup>、田口直<sup>2)</sup>、Yi Piao<sup>2)</sup>、  
Annalisa Rubino<sup>3)</sup>、KuanYeh Lee<sup>4)</sup>、  
Chen Megan<sup>5)</sup>、井上幸恵<sup>6)</sup>、  
増田有里子<sup>6)</sup>、原田圭輔<sup>2)</sup>、谷川哲也<sup>2)</sup>

- 1) 順天堂大学医学部総合診療科学講座
- 2) ギリアド・サイエンシズ株式会社
- 3) Gilead Sciences Europe Ltd.
- 4) Gilead Sciences, Global Medical Affairs
- 5) Gilead Sciences Inc.
- 6) クレコンメディカルアセスメント株式会社

### O38-3 ビクテグラビル/エムトリシタビン/テノホビルアラフェナミド(B/F/TAF)の日本人HIV陽性者(PWH)に対する有効性と安全性：BICSTaR Japan 24ヵ月解析結果

照屋勝治<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>、渡邊大<sup>3)</sup>、  
遠藤知之<sup>4)</sup>、南留美<sup>5)</sup>、田口直<sup>6)</sup>、  
Rebecca Harrison<sup>7)</sup>、  
Andrea Marongiu<sup>7)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>、  
岡慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 北海道大学病院
- 5) 国立病院機構九州医療センター
- 6) ギリアド・サイエンシズ株式会社
- 7) Gilead Sciences Europe Ltd.

### O38-4 HIV診療におけるePROの妥当性及び有用性に関して一試作ePROのfeasibility test結果

吉野友祐<sup>1,2)</sup>、若林義賢<sup>2)</sup>、北沢貴利<sup>2)</sup>

- 1) 帝京大学医学部微生物学講座
- 2) 帝京大学医学部附属病院感染症内科

### O38-5 テノホビルジソプロキシシルフマル酸塩からテノホビルアラフェナミドフマル酸塩へ変更投与後288週の日本人HIV-1陽性者の腎機能評価

阿部憲介<sup>1,2)</sup>、今村淳治<sup>3)</sup>、佐々木晃子<sup>3)</sup>、  
鈴木智子<sup>3)</sup>、神尾咲留未<sup>4)</sup>、小原拓<sup>5)</sup>、  
伊藤俊広<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構盛岡医療センター薬剤科
- 2) 国立病院機構仙台医療センター臨床研究部
- 3) 国立病院機構仙台医療センターHIV/AIDS包括医療センター
- 4) 国立病院機構茨川医療センター薬剤部
- 5) 東北大学病院薬剤部

### O38-6 当院におけるビクテグラビルへのスイッチの体重変化の後方視学的検討

関谷綾子、金子竣、原田侑子、  
宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、  
近澤悠志、備後真登、村松崇、  
四本美保子、萩原剛、天野景裕、  
木内英

東京医科大学臨床検査医学分野

# 一般演題 (口演)

■日時：12月5日(火) 10:00~10:40

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 039 (社・S) 薬害2

座長 川戸美由紀

(国立保健医療科学院)

首藤美奈子

(国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

O39-1 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言(第13報)~患者参加型研究の支援成果を踏まえた今後の支援課題

柿沼章子、久地井寿哉、岩野友里、武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O39-2 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第3報 こころの状態の関連要因の検討

三重野牧子<sup>1)</sup>、川戸美由紀<sup>2)</sup>、橋本修二<sup>2)</sup>、天野景裕<sup>3)</sup>、大金美和<sup>4)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、岡本 学<sup>5)</sup>、瀧永博之<sup>4)</sup>、日笠 聡<sup>6)</sup>、八橋 弘<sup>7)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

1) 自治医科大学  
2) 藤田医科大学  
3) 東京医科大学  
4) 国立国際医療研究センター  
5) 国立病院機構大阪医療センター  
6) 兵庫医科大学病院  
7) 国立病院機構長崎医療センター

O39-3 薬害 HIV 感染血友病患者の今一非薬害血友病患者との意識調査の比較一

小島賢一<sup>1)</sup>、竹谷英之<sup>2)</sup>、稲垣有佐<sup>3)</sup>、柿沼章子<sup>4)</sup>、小粥美香<sup>5)</sup>、後藤美和<sup>6)</sup>、瀧 正志<sup>7)</sup>、近澤悠志<sup>8)</sup>、長江千愛<sup>7)</sup>、野島正寛<sup>9)</sup>、牧野健一郎<sup>10)</sup>、村上由則<sup>11)</sup>

1) 医療法人財団荻窪病院  
2) 敦賀医療センターリハビリテーション科  
3) 奈良県立医科大学リハビリテーション医学講座  
4) はばたき福祉事業団  
5) 東京大学医科学研究所附属病院看護部  
6) 東京大学医学部附属病院リハビリテーション部  
7) 聖マリアンナ医科大学小児科  
8) 東京医科大学臨床検査医学科  
9) 東京大学医科学研究所TR治験センター  
10) 新王子病院リハビリテーション科  
11) 東北福祉大学教育学部

O39-4 薬害 HIV 感染被害患者における長期療養への支援提言(第15報)~フレイルと関連した主観的 QALY の推定一

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、武田飛呂城

社会福祉法人はばたき福祉事業団

O39-5 薬害 HIV 感染者における歯科受診とセルフケアの実態と課題に関する調査

宮本里香<sup>1,2)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、野崎宏枝<sup>1)</sup>、佐藤愛美<sup>2)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、杉野祐子<sup>1)</sup>、谷口 紅<sup>1)</sup>、栗田あさみ<sup>1)</sup>、森下恵理子<sup>1)</sup>、大杉福子<sup>1)</sup>、木村聡太<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、中本貴人<sup>1)</sup>、近藤順子<sup>3)</sup>、高鍋雄亮<sup>3)</sup>、丸岡 豊<sup>3)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

2) 公益財団法人エイズ予防財団

3) 国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科

■日時：12月5日(火) 10:00~10:48

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## 040 (基・B) 複製・感染機構/その他

座長 野間口雅子

(徳島大学大学院医歯薬学研究所微生物病原学分野)

原田恵嘉

(国立感染症研究所エイズ研究センター)

O40-1 HIV-1 capsid core に結合するコウモリ宿主因子の網羅的プロテオーム解析

大倉定之<sup>1)</sup>、石野孔祐<sup>2)</sup>、清水真澄<sup>1)</sup>、武内寛明<sup>3)</sup>、森田林平<sup>1)</sup>

1) 日本医科大学微生物学・免疫学分野

2) 日本医科大学統御機構診断病理学分野

3) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科ハイリスク感染症研究マネジメント学分野

O40-2 インテグラーゼによる HIV-1 逆転写反応のシスアロステリック制御

小谷 治<sup>1)</sup>、増田貴夫<sup>2,3)</sup>、横山 勝<sup>1)</sup>、河合剛太<sup>3)</sup>、佐藤裕徳<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

2) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

3) 千葉工業大学先進工学部生命科学科



# 一般演題 (口演)

O40-3 CXCR4 多量体形成が関連した HIV-1 感染機序の解明

奥村真由、中村朋文、中田浩智、  
安永純一朗、松岡雅雄

熊本大学大学院生命科学研究部血液・膠原病・感染症内科学

O40-4 HIV-1 エンベロープ糖タンパク質三量体の中和抵抗性株で見られた特徴的構造

横山 勝、小谷 治、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

O40-5 Env タンパク質に依存しない HIV-1 レトロトランスポゾン機構の解析

門出和精<sup>1)</sup>、Nyame Perpetual<sup>1)</sup>、  
Amesimeku Wright Ofotsu<sup>1)</sup>、  
Rajib Samiul Alam<sup>2)</sup>、松田崇秀<sup>1)</sup>、  
寺沢広美<sup>1)</sup>、門出奈美<sup>1)</sup>、  
Kubi Joyce Appiah<sup>1)</sup>、  
Hossain Md. Jakir<sup>1)</sup>、佐藤賢文<sup>2)</sup>、  
澤 智裕<sup>1)</sup>、前田洋助<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座  
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センターゲノミクス・トランスクリプトミクス学分野

O40-6 Triosephosphate isomerase 1 は好氣的解糖下で HIV-1 複製を増強する

阿部人和<sup>1)</sup>、岸本直樹<sup>1)</sup>、三浦知志<sup>1)</sup>、  
安武多恵<sup>1)</sup>、高宗暢暁<sup>2)</sup>、三隅将吾<sup>1)</sup>

1) 熊本大学大学院薬学教育部  
2) 熊本大学熊本創生推進機構

■日時：12月5日(火) 10:00~10:48

■会場：第7会場(1F ラシゴーニュ)

## O41 (臨・C) 症例報告(日和見感染症)

座長 塚田訓久

(国立病院機構東埼玉病院臨床研究部)

清水恒広

(京都市立病院感染症科)

O41-1 AIDS、びまん性大細胞型 B 細胞性リンパ腫、肺結核の治療中に発症し診断に苦慮した頭蓋内結核腫による免疫再構築症候群の一例

福地貴彦<sup>1)</sup>、瀬戸那由太<sup>1)</sup>、畠山修司<sup>1,2)</sup>

1) 自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科  
2) 自治医科大学附属病院総合診療内科

O41-2 長時間作用型カボテグラビル・リルピビルン療法に切り替え後に発症した HBs 抗体陽性例の急性 B 型肝炎と急性 E 型肝炎の混合感染の 1 例

中村 造、長 盛親、小林勇仁

東京医科大学病院感染制御部・感染症科

O41-3 脾臓摘出術によりコントロールを得ることが出来たと考えられる播種性非結核性抗酸菌感染症を伴った後天性免疫不全症候群の一例

内藤 宏、山中篤志

宮崎県立宮崎病院

O41-4 ニューモシスチス肺炎で AIDS を発症した seronegative HIV infection 症例における抗体反応の推移

瀬戸那由太<sup>1,2)</sup>、福地貴彦<sup>1)</sup>、河上麻美代<sup>3)</sup>、  
長島真美<sup>3)</sup>、貞升健志<sup>3)</sup>、畠山修司<sup>2,4)</sup>

1) 自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科  
2) 自治医科大学附属病院感染症科  
3) 東京都健康安全研究センター微生物部  
4) 自治医科大学総合診療部門

O41-5 AIDS 合併ニューモシスチス肺炎に難治性気胸を併発し、ART 導入で気胸の治療が得られた 1 例

KWAN EE OH<sup>1)</sup>、小川孔幸<sup>1)</sup>、松本 彬<sup>1)</sup>、  
武藤壮平<sup>2)</sup>、若松郁生<sup>2)</sup>、久野花凜<sup>2)</sup>、  
柳澤邦雄<sup>3)</sup>、反町百花<sup>1)</sup>、今村健二<sup>1)</sup>、  
斎藤 慧<sup>1)</sup>、小林宣彦<sup>1)</sup>、宮澤悠里<sup>1)</sup>、  
半田 寛<sup>1)</sup>

1) 群馬大学医学部付属病院血液内科  
2) 群馬大学医学部付属病院呼吸器内科  
3) 群馬大学医学部付属病院感染制御部

O41-6 抗 HIV 薬服用中の血友病患者における口腔機能と口腔環境の評価

岡田美穂<sup>1)</sup>、新谷智章<sup>2)</sup>、川越麻衣子<sup>1)</sup>、  
岩田倫幸<sup>3)</sup>、山崎尚也<sup>4)</sup>、藤井輝久<sup>4,5)</sup>、  
柴 秀樹<sup>6)</sup>

1) 広島大学病院診療支援部歯科部門  
2) 広島大学病院口腔検査センター  
3) 広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室  
4) 広島大学病院輸血部  
5) 広島大学病院エイズ医療対策室  
6) 広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

■日時：12月5日(火) 11:00~11:48

■会場：第5会場(2F ル・ポワ)

## 042 (社・S) ソーシャルワーク

座長 重信英子

(広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室)

岡本 学

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター医療福祉相談室)

### 042-1 エイズ診療ブロック拠点病院等ソーシャルワーカー情報交換会の開催意義と役割

重信英子<sup>1)</sup>、首藤美奈子<sup>2)</sup>、岡本 学<sup>3)</sup>、高橋昌也<sup>4)</sup>、三嶋一輝<sup>5)</sup>、山口みなみ<sup>6)</sup>、北村未季<sup>6)</sup>、佐藤華絵<sup>7)</sup>、青野加奈子<sup>8)</sup>、鳥越彩英子<sup>8)</sup>、川端まみ<sup>8)</sup>、窪田和世<sup>8)</sup>、横尾ゆかり<sup>9)</sup>、豊永ひかり<sup>10)</sup>、中嶋幸徳<sup>1)</sup>、築山芽生<sup>11)</sup>、中津千恵子<sup>12)</sup>、堤 千尋<sup>12)</sup>、大里文誉<sup>2)</sup>、田邊瑛美<sup>2)</sup>、仲倉高広<sup>13)</sup>

- 1) 広島大学病院
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 国立病院機構大阪医療センター
- 4) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 5) 福井大学医学部附属病院
- 6) 北海道大学病院
- 7) 国立病院機構仙台医療センター
- 8) 石川県立中央病院
- 9) 新潟大学医歯学総合病院
- 10) 国立病院機構名古屋医療センター
- 11) 県立広島病院
- 12) 広島市立広島市民病院
- 13) 京都ノートルダム女子大学

### 042-2 HIV 陽性者の受け入れ経験を有する事業所のネットワークを作る取り組み「福岡県 HIV サポーター連携カンファレンス」実践報告

田邊瑛美<sup>1,2)</sup>、南 留美<sup>2)</sup>、首藤美奈子<sup>2)</sup>、大里文誉<sup>2)</sup>、新野 歩<sup>3)</sup>

- 1) 福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) ホームホスピスほのほの・訪問看護ステーションラポールほのほの

### 042-3 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について～第 2 回 Ns と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から～

三嶋一輝<sup>1)</sup>、池田和子<sup>2)</sup>、四戸 良<sup>3)</sup>、木下佑子<sup>1)</sup>、羽柴知恵子<sup>4)</sup>、葛田衣重<sup>5)</sup>、横幕能行<sup>4)</sup>

- 1) 福井大学医学部附属病院
- 2) 国立国際医療研究センター病院
- 3) 旭川医科大学病院
- 4) 名古屋医療センター
- 5) 千葉大学医学部附属病院

### 042-4 当事者スタッフと専門職者が連携した相談活動の実践と効果

澤田華世<sup>1)</sup>、町登志雄<sup>2)</sup>、陰山朋久<sup>2)</sup>、宮階真紀<sup>2)</sup>、森田眞子<sup>3)</sup>、山中京子<sup>4)</sup>、古谷野淳子<sup>5)</sup>、塩野徳史<sup>6)</sup>

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団/MASH大阪
- 3) 国立病院機構大阪医療センター臨床心理室
- 4) コラボレーション実践研究所
- 5) 新潟県労働局
- 6) 大阪青山大学健康科学部看護学科

### 042-5 引きこもりなど多くの課題を抱え、地域で孤立していた薬害エイズ患者へ MSW が介入し、支援体制を構築した 1 例

木梨貴博、齊藤誠司、坂田達朗、片山智之、津田由美、中村 葵、飯塚暁子、藤原千尋、野村直幸、河野泰宏、安岡悠典、宮内浩希

独立行政法人国立病院機構福山医療センター

### 042-6 終末期医療に移行した HIV 陽性者へのソーシャルワーク実践—家族へ病名未告知だった際の療養支援—

大里文誉、首藤美奈子、南 留美

国立病院機構独立行政法人九州医療センターAIDS/HIV 総合治療センター

# 一般演題 (口演)

■日時：12月5日(火) 11:00~11:48

■会場：第6会場(2F サロンドシャルム)

## 043 (臨・C) 性感染症

座長 青木孝弘

(国立国際医療研究センター)

井戸田一朗

(しらかば診療所)

O43-1 MSM-PLWHにおけるA型肝炎ワクチン(エイムゲン)接種の3年後HA抗体価についての検討

古賀道子<sup>1)</sup>、久保田めぐみ<sup>1)</sup>、  
千光寺智恵<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>2)</sup>、池内和彦<sup>2)</sup>、  
菊地 正<sup>2)</sup>、大谷天人<sup>2)</sup>、齋藤 真<sup>1)</sup>、  
堤 武也<sup>2)</sup>、四柳 宏<sup>1,2)</sup>

1) 東京大学医科学研究所感染症分野  
2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O43-2 当院のHIV患者における梅毒の罹患状況と薬剤師の関わり

河野泰宏<sup>1,2)</sup>、野村直幸<sup>1,2)</sup>、野田綾香<sup>1,2)</sup>、  
安岡悠典<sup>1,2)</sup>、高田 遼<sup>1)</sup>、中村 葵<sup>2)</sup>、  
藤原千尋<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>2)</sup>、木梨貴博<sup>2)</sup>、  
片山智之<sup>2)</sup>、門田悦子<sup>2)</sup>、宮内浩希<sup>2)</sup>、  
高橋洋子<sup>1)</sup>、田村浩二<sup>1)</sup>、齋藤誠司<sup>2,3)</sup>、  
坂田達朗<sup>2,4)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター薬剤部  
2) 独立行政法人国立病院機構福山医療センターエイズ治療センター  
3) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター感染症内科  
4) 独立行政法人国立病院機構福山医療センター肝臓内科

O43-3 エムボックス罹患時の一過性のT細胞の減少と回復時の異型リンパ球の増加

安達英輔、大谷天人、齋藤 真、  
古賀道子、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

O43-4 当院におけるHIV合併Mpox症例の臨床的検討

一木昭人、金子 竣、原田侑子、  
宮下竜伊、上久保淑子、山口知子、  
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、  
村松 崇、四本美保子、萩原 剛、  
天野景裕、木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

O43-5 当院HIV感染者におけるエムボックスの臨床的特徴

中本貴人、阿部静太郎、小泉吉輝、  
安藤尚克、上村 悠、水島大輔、  
青木孝弘、矢崎博久、渡辺恒二、  
照屋勝治、淵永博之

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

O43-6 未治療のHIV患者に感染したmPOXの一例

津田歩美<sup>1)</sup>、佐藤翔太<sup>1)</sup>、西村拓人<sup>1)</sup>、  
大和田裕介<sup>1)</sup>、齋藤成美<sup>2)</sup>、早川雄次<sup>3)</sup>、  
柳 秀高<sup>1)</sup>、小澤秀樹<sup>1)</sup>

1) 東海大学医学部付属病院総合内科  
2) 東海大学医学部付属病院皮膚科  
3) 有隣厚生会富士病院皮膚科

■日時：12月5日(火) 11:00~11:48

■会場：第7会場(1F ラシゴージュ)

## 044 (臨・C) 抗HIV療法10

座長 水島大輔

(国立国際医療研究センター)

榎田宏幸

(国立病院機構大阪医療センター薬剤部)

O44-1 ドラビリンの長期使用に伴う影響調査

山口泰弘<sup>1,3)</sup>、合原嘉寿<sup>1,3)</sup>、藤田清香<sup>1,3)</sup>、  
松永真実<sup>1,3)</sup>、藤瀬陽子<sup>1,3)</sup>、大橋邦央<sup>1,3)</sup>、  
橋本雅司<sup>1,3)</sup>、中嶋恵理子<sup>2,3,4)</sup>、  
高濱宗一郎<sup>2,3,4)</sup>、南 留美<sup>2,3,4)</sup>

1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部  
2) 国立病院機構九州医療センターAIDS/HIV総合治療センター  
3) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター  
4) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科

O44-2 12-month (12M) effectiveness and safety of bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (B/F/TAF) in people with HIV (PWH) from real-world cohorts in Asia

横幕能行<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、  
Chia-Jui Yang<sup>3)</sup>、  
Chen Seong Wong<sup>4,5)</sup>、  
Sun Hee Lee<sup>6,7)</sup>、Yeon-Sook Kim<sup>8)</sup>、  
Kuan-Yeh Lee<sup>9)</sup>、Jack Chang<sup>9)</sup>、  
Andrea Marongiu<sup>9)</sup>、  
Chien-Ching Hung<sup>10)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 3) Department of Internal Medicine, Far Eastern Memorial Hospital, Taiwan
- 4) Department of Infectious Diseases, National Centre for Infectious Diseases, Singapore
- 5) Department of Infectious Diseases, Tan Tock Seng Hospital, Singapore
- 6) Department of Internal Medicine, Pusan National University School of Medicine, South Korea
- 7) Medical Research Institute, Pusan National University Hospital, South Korea
- 8) Department of Internal Medicine, Chungnam National University Hospital, South Korea
- 9) Gilead Sciences
- 10) Department of Internal Medicine, National Taiwan University Hospital Yunlin Branch, Taiwan

O44-3 ウイルス学的抑制が得られている症例に対する Doravirine + Dolutegravir または Raltegravir 併用療法の有効性等に関する検討

平野 淳<sup>1)</sup>、松岡梨恵<sup>1)</sup>、松木克仁<sup>1)</sup>、  
山梨領太<sup>1)</sup>、柴原夏帆<sup>1)</sup>、羽柴知恵子<sup>2)</sup>、  
今橋真弓<sup>3,4)</sup>、岩谷靖雅<sup>4)</sup>、吉田知由<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター看護部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

O44-4 第2世代インテグラーゼ阻害剤使用前後の血清クレアチニンと血清シスタチンCの評価

村松 崇、金子 竣、原田侑子、  
宮下竜伊、上久保淑子、一木昭人、  
近澤悠志、備後真登、関谷綾子、  
四本美保子、萩原 剛、天野景裕、  
木内 英

東京医科大学病院臨床検査医学科

O44-5 HIV 陽性者における 15 年間での変化

古西 満<sup>1,2)</sup>、宇野健司<sup>2,3)</sup>、治田匡平<sup>4)</sup>、  
松尾理世<sup>4)</sup>、福盛達也<sup>2)</sup>、笠原 敬<sup>2)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 奈良県立医科大学感染症センター
- 3) 南奈良総合医療センター感染症内科
- 4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部

O44-6 抗 HIV 薬変更に伴う赤血球数の変化について

南 留美<sup>1)</sup>、高濱宗一郎<sup>1)</sup>、中嶋恵理子<sup>1)</sup>、  
城崎真弓<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>1)</sup>、犬丸真司<sup>1)</sup>、  
山地由恵<sup>1)</sup>、合原嘉寿<sup>1)</sup>、小松真梨子<sup>1)</sup>、  
矢田亮子<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター
- 2) 医療法人西福岡病院